

科目No 212216000
 ナンバリングコード N2DA2201
 科目名 動物薬理学
 学科 獣医保健看護学科
 科目区分 必修
 授業区分 講義
 単位数 2
 学年 2
 担当教員 藤澤 正彦
 浅井 史敏

授業のねらい	動物の疾病の治療や診断に用いる薬が作用する過程を理解するために、対象疾患の病態、代表的な治療薬の薬理作用、機序、臨床応用および副作用を学ぶ。また、薬物の体内動態、代謝、排泄に関する基礎知識を、動物種差を含めて修得する。
到達目標	動物医療に用いられる薬の作用やその使用法等についてクライアント（飼い主）に対して、薬の適切かつ安全な使用を説明できるようになる。また、麻酔薬など院内で使用する薬について使用理由が説明できるようになる。
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	薬理学の理解を深めるためには、機能学、生化学、病態学、免疫学の知識も重要である。1年生で学んだ授業や2年生で並行して実施されている講義の内容と薬理学との関連について考えてほしい。
履修上の留意点	講義前に学修支援システムに配信する講義資料を事前に学習してから講義に参加すること。
授業期間を通して出される課題	講義中に出席を兼ねた小テストを実施する
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	授業前に教科書や講義資料を中心に30分、講義後はその復習に30分、学修時間が必要である。
テキスト、参考文献他	"教科書：基礎動物看護学 2 動物病理学、動物薬理学（EDUWARD Press） 参考図書：獣医薬理学＜第2版＞（近代出版）"
授業形態	対面授業形式を基本として時にはオンデマンドによる講義動画を配信する。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	80	学期末に定期試験を実施する（評価結果は学修支援システムより通知する）
	レポート試験	20	学期の中間に中間試験（筆記試験）を実施する（評価結果は学修支援システムなどより通知する）
	平常点評価	0	授業中に小テストを実施した場合は評価に加えることもある。
	評価のフィードバック方法		オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする予定である。
	再試験	実施する	

成績評価基

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/11(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	動物看護師における薬の利用			
	授業内容	動物看護師に求められる薬理学について概説する			
2.	2022/04/18(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	神経系に作用する薬物（全身麻酔薬・局所麻酔薬）			
	授業内容	全身麻酔薬と局所麻酔薬を中心に講義する			
3.	2022/04/25(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	神経系に作用する薬物（鎮静薬・鎮痛薬・抗けいれん薬）			
	授業内容	鎮静薬・鎮痛薬・抗けいれん薬を中心に講義する			
4.	2022/05/02(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	循環器に作用する薬物（心不全の治療薬）			
	授業内容	循環器に作用する薬物（心不全の治療薬） 心不全の治療薬を中心に講義する			
5.	2022/05/09(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	循環器に作用する薬物（血管拡張薬・抗不整脈薬）			
	授業内容	血管拡張薬・抗不整脈薬を中心に講義する			
6.	2022/05/16(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	呼吸器に作用する薬物			
	授業内容	呼吸器に作用する薬物について講義する			
7.	2022/05/23(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	泌尿・生殖器に作用する薬物			
	授業内容	泌尿・生殖器に作用する薬物について講義する			
8.	2022/05/30(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	血液に作用する薬物			
	授業内容	血液に作用する薬物について講義する			
9.	2022/06/06(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	消化器に作用する薬物			
	授業内容	消化器に作用する薬物について講義する			
10.	2022/06/13(月)	2 時限	藤澤 正彦 浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	代謝・内分泌系の薬物			
	授業内容	糖尿病治療や甲状腺ホルモン製剤を中心に講義する			
11.	2022/06/20(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	免疫系に作用する薬物、抗炎症薬			
	授業内容	免疫系に作用する薬物、抗炎症薬について講義する			
12.	2022/06/27(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	感染症の治療、予防に用いられる薬物（抗菌薬、抗真菌薬）			
	授業内容	抗菌薬、抗真菌薬を中心に講義する			
13.	2022/07/04(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	感染症の治療、予防に用いられる薬物（消毒薬、駆虫薬、殺虫薬）			
	授業内容	消毒薬、駆虫薬、殺虫薬について講義する			
14.	2022/07/11(月)	2 時限	浅井 史敏	B512	講義
	タイトル	悪性腫瘍の治療に用いられる薬物			
	授業内容	抗悪性腫瘍薬について講義する			

その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。
出欠の確認は毎回実施する。出席が3分の2に達しないものは定期試験を受けることはできない。

科目No	212218000
ナンバリングコード	N2DA2401
科目名	動物微生物学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	青木 博史 塩川 舞

授業のねらい	愛玩動物、産業動物、実験動物及び野生動物等の陸生動物（鳥類を含む）の病原微生物とそれによる感染症の特徴を学ぶとともに、愛玩動物看護をはじめとする獣医保健看護領域に欠かせない衛生管理、病原微生物検査及び予防法などの知識・理論を学び、習得することを目的とする。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 陸生動物の微生物（ウイルス、細菌及び真菌）の分類、形態、生物学的特徴、感染と発症を説明できる。 2. 病原微生物の病原性、増殖と培養、各種検査法または診断法について説明できる。 3. 感染症の制御法（消毒と滅菌ほか）、予防法（免疫とワクチン、抗菌薬など）、衛生管理を説明できる。 4. 動物の各種微生物感染症の特徴、感染経路と伝播様式、症状と診断、予防法について説明できる。 5. 動物の感染症あるいは院内感染症の発生に対して、対処や対策について議論できる。
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物機能学、動物形態学、動物生化学、動物遺伝学、産業動物学、動物病理学で学ぶ、動物の形態機能、生物学および細胞生物学の基礎知識が必要であり、それらを確認しながら履修に臨むこと。
履修上の留意点	愛玩動物看護師法に定める科目の「動物感染症学」のうち、微生物に関わる部分を講義する。動物寄生虫学（必須）と合わせて「動物感染症学」を理解すること。
授業期間を通して出される課題	
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	講義内容をスムーズに理解するのを助けるため、次回の講義に合致する教科書や参考書の項目を予習しておくこと。事前資料等がポータルに掲示してある講義回では、予めその内容に目を通しておくこと（100分）。 講義内容を理解し習得するため、講義後に、教科書や事前資料等を参考にしながら、毎回の講義テーマについてまとめておくこと。小テスト及びレポートが課されている場合には、期日までに回答すること（100分）。
テキスト、参考文献他	教科書：次のいずれでも差し支えない。 ①基礎動物看護学3「動物感染症学」（EDUWARD Press社）、②動物看護の教科書第2巻（緑書房） 参考書：次のいずれも講義に関連する。 ①動物微生物検査学（近代出版）、②動物の感染症第4版（近代出版） その他：講義に用いたスライド等はポータルに掲示する。印刷物として配布はしない。
授業形態	講義室内での対面講義。ただし、大学等の方針に従い、オンラインを活用する場合もある。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	70	期末定期試験期間中に試験（記述）、その評点を総合評価に用いる。
	レポート試験	10	講義回によって課されるレポートの評点を総合評価に用いる。
	平常点評価	20	学習状況（受講状況、ポータル活用、質問等）及び小テスト評点を総合評価に用いる。
	評価のフィードバック方法		オフィスアワーにおいて問い合わせがあった場合に、個別にフィードバックする。
	再試験		再試験は実施しない（次年度以降の同定期試験を受験すること）。

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/15(金)	2時限	青木 博史	B511	講義
	タイトル 授業内容	微生物の特徴と感染症（総論） 微生物（ウイルス、細菌、真菌）の定義と相違、感染と発症、微生物学・免疫学の歴史、感染症論、関連法規について講義する。			
2.	2022/04/22(金)	2時限	塩川 舞	B511	講義
	タイトル 授業内容	ウイルスの分類と形態 ウイルス（プリオンを含む）の分類、形態、構造、および機能について講義する。			
3.	2022/05/06(金)	2時限	塩川 舞	B511	講義
	タイトル 授業内容	ウイルスの増殖と培養、変異 ウイルスの増殖と変異（様式）、培養方法と観察方法を学び、感染と発症の機構について講義する。			
4.	2022/05/13(金)	2時限	塩川 舞	B511	講義
	タイトル 授業内容	ウイルスの検査法 検体の取り扱い、各種ウイルス検査（分離、抗原検出法、抗体検出法、遺伝子検出法（PCR法ほか））の種類と原理について講義する。			
5.	2022/05/20(金)	2時限	塩川 舞	B511	講義
	タイトル 授業内容	ウイルス感染症各論（家庭動物及び産業動物）① 家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の各ウイルス感染症について、分類、症状、感染経路と伝搬様式、治療法、予防法について講義する。			
6.	2022/05/27(金)	2時限	塩川 舞	B511	講義
	タイトル 授業内容	ウイルス感染症各論（家庭動物及び産業動物）② 家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の各ウイルス感染症について、分類、症状、感染経路と伝播様式、治療法、予防法について講義する。			
7.	2022/06/03(金)	2時限	塩川 舞	B511	講義
	タイトル 授業内容	ウイルス感染症各論（家庭動物及び産業動物）③ 家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の各ウイルス感染症について、分類、症状、感染経路と伝播様式、治療法、予防法について講義する。			
8.	2022/06/10(金)	2時限	青木 博史	B511	講義
	タイトル 授業内容	細菌及び真菌の分類と形態 細菌（リケッチア及びクラミジアを含む）及び真菌の分類、形態、構造、および一般性状について講義する。			
9.	2022/06/17(金)	2時限	青木 博史	B511	講義
	タイトル 授業内容	細菌及び真菌の増殖、変異、病原性 細菌及び真菌の増殖と変異、培養方法と観察方法、感染と発症について講義する。			
10.	2022/06/24(金)	2時限	青木 博史	B511	講義
	タイトル 授業内容	細菌及び真菌の検査法 検体の取扱い、検査環境（無菌操作など）、細菌等染色法と顕微鏡観察、鑑別同定法、遺伝子検出法について講義する。			

11.	2022/07/01(金) 2 時限	青木 博史	B511	講義
	タイトル	細菌及び真菌性疾病各論（家庭動物及び産業動物）①		
	授業内容	家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の細菌・真菌感染症について、分類、症状、感染経路と伝搬様式、治療法、予防法について講義する。		
12.	2022/07/08(金) 2 時限	青木 博史	B511	講義
	タイトル	細菌及び真菌性疾病各論（家庭動物及び産業動物）②		
	授業内容	家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の細菌・真菌感染症について、分類、症状、感染経路と伝搬様式、治療法、予防法について講義する。		
13.	2022/07/15(金) 2 時限	青木 博史	B511	講義
	タイトル	感染制御と予防法①（免疫とワクチン、抗菌薬と薬剤耐性）		
	授業内容	動物の免疫の基礎（自然免疫と獲得免疫、体液性免疫と細胞性免疫、アレルギー・自己免疫疾患など）と応用（ワクチンの原理、種類、接種プログラム等）、抗菌薬の種類、MICと薬剤感受性試験、適正使用と薬剤耐性問題、について講義する。		
14.	2022/07/22(金) 2 時限	塩川 舞	B511	講義
	タイトル	感染制御と予防法②（消毒と滅菌、バイオハザード対策、院内感染予防）		
	授業内容	消毒と滅菌（定義、理論、種類）、衛生管理と安全対策（バイオハザード・バイオセーフティ等）および院内感染対策について講義する。		

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212220000
ナンバリングコード	N2DA2601
科目名	動物寄生虫学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	森田 達志

授業のねらい

2年次前期の動物微生物学において、感染症の概念と、病原体としてのウイルスおよび原核生物について学習した。本科目ではそれに続き、残された真核生物性病害生物の多くを占める「寄生虫」について学ぶ。ウイルスや原核生物性病原体は巧みな感染戦略を持つことを学んだが、それらに比べ、より多彩な遺伝子を持つことができる真核生物である寄生虫は、さらに複雑な感染戦略（生活環）をとることも多く、感染防御、病態発生、あるいは治療にあたって独特の考え方が求められる。寄生虫はきわめて多様性に富み多種が存在するが、本科目では、その中でも飼育動物のプロフェッショナルである動物看護師として、そして一般の生活者として、知っておくべきものを中心に学習し、それらをコントロールする術（すべ）を身につける。さらには、そうした知識を平易な言葉で人々に伝え、動物とヒトが健康に暮らせるよう働きかけることを意識して学ぶ。

なお「寄生虫症の診断と検査」の項については、一部は講義中に扱うが、体系的には3年前期に開講される「動物寄生虫学実習」において学習する。

到達目標

1. 動物看護師として、また日常生活において遭遇しうる寄生虫の生活環を理解する。
2. 生活環を柱として、各寄生虫の感染予防法、病態発生機序、および治療法について理解する。
3. 上記2について、予備知識を持たない人間が理解できるよう説明できる。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能

動物微生物学における感染症の概念について復習しておく。

履修上の留意点

出欠確認と質問票をかねたレポートを毎講義時に課す。

授業期間を通して出される課題

◎レポート提出にあたっての注意
提出は原則的に当該講義が行われた週の金曜日18時までとする。
森田居室（D棟5F獣医学教育推進室）前ボックスに提出。
提出されたレポートは原則的に返却しないので、必要があれば提出前に各自でコピーをとっておくこと。

授業外学修の具体的な指示、時間の目安

【予習】：次週に講義が予定されている項目について、生活環（ライフサイクル）を確認しておく（70分間）。

【復習】：講義で扱った項目について、動物看護師として、あるいは寄生虫学を学んだ人間として、他者に説明ができるようにシミュレーションを行うこと。説明相手としては自分の高校時代の友人や親戚等の専門家ではない人々を想定し、彼らに納得してもらえるか否かを基準として設定する。この行為を通して自身の理解の不足部分の確認と、大学卒業後に最も重視される説明能力の向上を期する（130分間）。

上記復習時間にはレポート作成時間も含む。

[テキスト (必須)]
愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 3 巻「動物感染症学」(日本動物保健看護系大学協会カリキュラム委員会編・エデュワードプレス(旧・インターズー))

テキスト、
参考文献他

- [参考書]
1. 犬・猫・エキゾチックペットの「寄生虫ビジュアルガイド」(佐伯英治著・インターズー)
 2. 「図説獣医衛生動物学」(今井壯一他著・講談社サイエンティフィック)
 3. 「最新 獣医寄生虫学・寄生虫病学」(石井俊雄著・講談社サイエンティフィック)
 4. 「図説 人体寄生虫学」(吉田幸雄・有園直樹著・南山堂)

授業形態

講義室における対面講義。
指定教科書内容を元に、不足部分は学修支援システム経由で資料を配付して講述する。
レポートにおける質問や事実誤認のなかから普遍性の高い事項については次回講義時冒頭に解説する。
対面講義が実施可能になった場合には、必要資料は印刷して講義当日に配布する。

成績評価基準

種別	評価割合(%)	評価方法
定期試験	60	定期試験期間内に筆記試験を実施 ※評価結果は学修支援システムを用いて各個人に通知する。 ※答案は希望者には個別に開示・解説するが返却はしない。 ※感染症蔓延等により定期試験実施が困難な状況になった場合は別途対応を通知する。 出欠兼質問票兼レポート(平常点評価をかねる)
レポート試験	40	※提出レポートの評価割合が高いため、「必ず」提出すること。
平常点評価	0	必要に応じて実施する可能性あり。
評価のフィードバック方法		定期試験後の総合評価は定期試験結果と共に学修支援システムを用いて受講者の各個人に通知する。 ※定期試験の答案は希望者には個別に開示・解説するが返却はしない。
再試験		行わない。

成績評価基準(ループリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/09/27(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	タイトル	寄生虫学総論・原虫類総論・原虫類各論 1			
2.	2022/10/04(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	授業内容	寄生虫学総論、原虫類総論、赤痢アメーバ、ジアルジア類、アピコンプレクス類			
3.	2022/10/11(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	タイトル	原虫類各論 2			
4.	2022/10/18(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	授業内容	アピコンプレクス類			
5.	2022/10/25(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	タイトル	原虫類各論 3			
6.	2022/10/25(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	授業内容	ヘパトゾーン類、ピロプラズマ類、トリパノソーマ類、リーシュマニア類			
7.	2022/10/25(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	タイトル	蠕虫類総論・吸虫類総論・吸虫類各論 1			
8.	2022/10/25(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	授業内容	蠕虫類総論、吸虫類総論、肝蛭、横川吸虫、肝吸虫			
9.	2022/10/25(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	タイトル	吸虫類各論 2			
10.	2022/11/01(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
	授業内容	壺形吸虫、肺吸虫、浅田棘口吸虫、住血吸虫類			

6.	タイトル	条虫類総論・条虫類各論 1			
	授業内容	条虫類総論、犬・猫の条虫類			
	2022/11/15(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
7.	タイトル	条虫類各論 2			
	授業内容	犬・猫の条虫類、ウマの条虫類、ネズミ・ハムスターの条虫類類、ヒトの条虫類			
	2022/11/22(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
8.	タイトル	線虫類総論・線虫類各論 1			
	授業内容	線虫類総論、回虫類、ぎょう虫類、アニサキス類			
	2022/11/29(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
9.	タイトル	線虫類各論 2			
	授業内容	鉤虫類、糞線虫類、広東住血線虫類、馬の円虫類			
	2022/12/06(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
10.	タイトル	線虫類各論 3			
	授業内容	胃虫、顎口虫類、犬糸状虫、東洋眼虫、鞭虫類、旋毛虫			
	2022/12/13(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
11.	タイトル	衛生動物類総論・衛生動物類各論 1			
	授業内容	衛生動物類総論・ダニ類総論			
	2022/12/20(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
12.	タイトル	衛生動物類各論 2			
	授業内容	ダニ類各論1			
	2022/12/27(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
13.	タイトル	衛生動物類各論 3			
	授業内容	ダニ類各論 2、昆虫類総論、シラミ・ハジラミ類			
	2023/01/10(火)	2 時限	森田 達志	B512	講義
14.	タイトル	衛生動物各論 4			
	授業内容	ノミ類、双翅類			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212231000
ナンバリングコード	N2DA3101
科目名	臨床動物行動学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	水越 美奈 小野沢 栄里 矢崎 潤

授業のねらい	1年次の「動物行動学（動物トレーニング学）」で学んだ基礎知識を踏まえ、飼育動物の困った行動問題を解決するために必要な知識を環境の変容や行動修正法を中心に取り上げる。講義における対象動物は犬・猫とする																		
到達目標	1. 問題行動の原因を理解できる 2. 基本的な行動修正法を理解できる 3. 犬と猫でよくみられる問題行動について基本的な知識を習得する																		
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	1年次の「動物行動学（動物トレーニング学）」の単位が取得済であること。動物行動学で学んだ学習理論についての理解が必須であるので、事前にしっかりと復習しておくこと																		
履修上の留意点	4年次の「臨床動物行動学実習」の受講（選択）条件になるので、受講希望者は必ず履修すること																		
授業期間を通して出される課題	1. 授業をまとめた自筆のノート作成 2. ポータルによる小テストを毎回行う																		
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習：教科書を読み、わからないところを整理する（90分） 復習：講義ノートを作成／整理し、授業内容の把握する。各回の小テストに解答する。（100分）																		
テキスト、参考文献他	授業ごとに資料を配信 教科書として「愛玩動物看護師教育カリキュラム準拠6：動物行動学・愛玩動物学・比較動物学」日本動物保健看護系大学協会編 エデュワードプレス 参考書として「犬と猫の問題行動の予防と対応－動物病院ができる上手な飼い主指導－」緑書房																		
授業形態	基本的に対面で行う。資料は事前にポータルを通して配信する																		
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>70</td> <td>選択式及び記述式で行う</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>10</td> <td>小テストの代わりに実施することがある</td> </tr> <tr> <td>平常点評価</td> <td>20</td> <td>出席、小テストの成績および提出期限遵守を評価する</td> </tr> <tr> <td>評価のフィードバック方法</td> <td colspan="2">評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する</td> </tr> <tr> <td>再試験</td> <td colspan="2">必要であれば、実施する</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	70	選択式及び記述式で行う	レポート試験	10	小テストの代わりに実施することがある	平常点評価	20	出席、小テストの成績および提出期限遵守を評価する	評価のフィードバック方法	評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する		再試験	必要であれば、実施する	
種別	評価割合(%)	評価方法																	
定期試験	70	選択式及び記述式で行う																	
レポート試験	10	小テストの代わりに実施することがある																	
平常点評価	20	出席、小テストの成績および提出期限遵守を評価する																	
評価のフィードバック方法	評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する																		
再試験	必要であれば、実施する																		
成績評価基																			

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/09/26(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	問題行動とは			
	授業内容	問題行動の定義と因子、臨床動物行動学（行動診療）の獣医療における必要性を説明する			
2.	2022/10/03(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	行動診療の流れと動物看護師の役割			
	授業内容	行動診療の進め方と行動診療の中での動物看護師の役割を理解する			
3.	2022/10/17(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	環境修正法と行動修正法			
	授業内容	行動診療の中で用いる環境修正法と行動修正法について理解する（刺激制御、拮抗条件づけと系統的脱感作、オペラント条件づけの消去、古典的条件づけの消去など）			
4.	2022/10/24(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	行動修正法②			
	授業内容	行動診療の中で用いる行動修正法について理解する（非両立行動分化強化、代替行動分化強化、他行動分化強化、負の罰、正の罰など）			
5.	2022/10/31(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	行動診療で用いるその他の方法			
	授業内容	行動診療で用いるその他の方法（行動修正を目的とした道具、外科的療法、薬物療法、サプリメントなど）について理解する			
6.	2022/11/08(火)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	問題行動の考え方			
	授業内容	実際に飼い主から相談を受けた時のアドバイスの手順と考え方について学ぶ			
7.	2022/11/14(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	仔犬や仔猫によくある問題			
	授業内容	排泄の失敗や甘噛み、じゃれ噛みなど仔犬や仔猫におこる問題とその対応策について学ぶ			
8.	2022/11/21(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	犬の過剰咆哮			
	授業内容	飼い主からの相談に多い犬の吠えについての問題とその対応策について学ぶ			
9.	2022/11/28(月)	1 時限	水越 美奈	B512	講義
	タイトル	犬と猫の攻撃行動			
	授業内容	犬と猫の攻撃行動について、その種類、動機、それらについての対応や治療について学ぶ			
10.	2022/12/05(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	犬と猫の恐怖・不安に起因する問題行動			
	授業内容	犬と猫の恐怖・不安に起因する問題行動とその対応や治療について学ぶ			
11.	2022/12/12(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	猫の排泄に関する問題行動			
	授業内容	猫では最も多いと言われる猫の排泄に関する問題行動（不適切な排泄とマーキング）と対応について学ぶ			
12.	2022/12/19(月)	1 時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	犬と猫の高齢性認知機能不全と高齢による行動変化			
	授業内容	犬と猫の高齢による行動変化と高齢性認知機能不全について症状、機序、対応策を理解する			
13.	2022/12/26(月)	1 時限	小野沢 栄里	B511	講義
	タイトル	一般診療の中にある臨床動物行動学①			
	授業内容	動物病院の様々な場面（待合、診察室、入院室等）において動物病院を好きになってもらう工夫について理解する			
14.	2023/01/16(月)	1 時限	小野沢 栄里	B511	講義
	タイトル	一般診療の中にある臨床動物行動学②			
	授業内容	恐怖や攻撃行動が認められる動物が来院した際の対応について理解する			

その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212232000
ナンバリングコード	N2DA3201
科目名	動物栄養学概論
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	石岡 克己 森 昭博

授業のねらい 栄養に役立つ化学成分を栄養素という。栄養素はタンパク質、脂質、炭水化物、無機物およびビタミン（五大栄養素）に大別される。本科目は、動物に必要な各栄養素やエネルギーの役割、利用と代謝、栄養計算、ペットフードの概要について解説する。

到達目標 炭水化物、脂質、タンパク質（アミノ酸）の消化吸収、生体内移動および代謝経路を説明できる。ビタミンおよびミネラルの機能、欠乏症、過剰症を説明できる。ライフステージの違いによる要求の違いを説明できる。肥満状態の違いを説明できる。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能

履修上の留意点

授業期間を通して出される課題

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 授業内容の事前配布による予習（100分）および授業内容の確認のための復習時間（100分）

テキスト、参考文献他 臨床動物看護学 2 動物臨床栄養学、動物臨床検査学（interzoo）

授業形態 授業での講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	80	担当教員ごとに試験を実施する。
	レポート試験	0	
	平常点評価	20	授業態度などを総合的に評価する。
	評価のフィードバック方法		評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。
	再試験		再試験は実施しない。

成績評価基準（ルーブリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
	2022/04/12(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
1.	タイトル	動物看護師が知っておくべきペットフードの基礎知識			
	授業内容	ペットフードラベルや犬や猫の栄養要求についてこれまでの基礎的な講義を復習をしながら説明をします。			
	2022/04/19(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
2.	タイトル	3大栄養素 炭水化物			
	授業内容	3大栄養素と炭水化物代謝について説明する。			
	2022/04/26(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
3.	タイトル	3大栄養素 タンパク質、脂質			
	授業内容	蛋白質、脂質代謝について説明する			
	2022/05/10(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
4.	タイトル	ビタミン			
	授業内容	ビタミンについて説明する。ビタミンの不足と過剰症について。			
	2022/05/17(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
5.	タイトル	ミネラル、中毒、食べさせてはいけないもの			
	授業内容	ミネラルと中毒および食べさせてはいけないものについて説明する。ミネラルの不足と過剰症について			
	2022/05/24(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
6.	タイトル	復習テスト①			
	授業内容	1-5回目までの復習テストを行う。問題は選択式でマークシートを用いて行う。			
	2022/05/31(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
7.	タイトル	90分で理解、腸内細菌入門と獣医療への応用			
	授業内容	腸内細菌叢、糞便のマイクロバイオームについての基礎知識について説明する			
	2022/06/07(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
8.	タイトル	エネルギー計算①			
	授業内容	ペットフードラベルに記載されている代謝エネルギーの計算法について学習する。総合栄養食について説明する。AAFCO、NRCの栄養基準について。療法食について説明する。			
	2022/06/14(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
9.	タイトル	エネルギー計算②			
	授業内容	犬と猫が一日に必要なとするエネルギー要求量 (RER、MERなど) の計算法を学習する。肥満や消瘦の症例での計算法も学習する。ボディコンディションスコアについて説明する。			
	2022/06/21(火)	2 時限	森 昭博	B315 B316	講義
10.	タイトル	復習テスト②			
	授業内容	7-9回目までの復習テストを行う。問題は計算問題が主で記述式とする。			
	2022/06/28(火)	2 時限	石岡 克己	B315 B316	講義
11.	タイトル	ライフステージと栄養1			
	授業内容	哺乳期、成長期の栄養管理について学習する。			
	2022/07/05(火)	2 時限	石岡 克己	B315 B316	講義
12.	タイトル	ライフステージと栄養2			
	授業内容	妊娠期、授乳期、老齢期の栄養管理について学習する。			
	2022/07/12(火)	2 時限	石岡 克己	B315	講義

				B316	
13.	タイトル	肥満と栄養指導			
	授業内容	肥満の原因と病態、治療について学習する。BCS、体脂肪測定など。			
	2022/07/19(火) 2 時限	石岡 克己		B315	講義
				B316	
14.	タイトル	動物の食性と比較生理学			
	授業内容	草食動物、肉食動物、雑食動物の違いについて学習する。			
その他	※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。				

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No 212295000
 ナンバリングコード N2DC1001
 科目名 動物行動生理学
 学科 獣医保健看護学科
 科目区分 必修
 授業区分 講義
 単位数 2
 学年 2
 担当教員 近藤 保彦

授業のねらい 動物の保健看護に携わるにあたって動物の行動を理解することは必須となります。この授業では、動物たちの行動はいかなるもので、それがどのような生物学的背景を持っているのかを学ぶことを目的としています。

到達目標 この授業では、動物行動の中でも特に社会行動を中心に学んでいきます。これらの行動は、ある部分では生得的なプログラムに従い、またある部分では学習や経験から成り立っています。これらの行動学的・生理学的仕組みを理解することを目標とします。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能 高校の生物で勉強した動物のからだのしくみをしっかり復習しておいてください。

履修上の留意点 各講義ではプリントを配ります。講義では、プリント、板書、そして講義の内容をもとにしっかりとしたノートを作ってください。

授業期間を通して出される課題

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 高校までの授業と違って、講義の内容がすべて教科書に書かれているわけではありません。毎回の授業後、自宅で教科書をもとに授業中に取ったノートを整理してください。

テキスト、参考文献他 近藤保彦ら編著「脳とホルモンの行動学—行動神経内分泌学への招待」西村書店、2010.

授業形態 プリント、スライドを使いながら講義を行います。講義後、質問を受けつけます。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	90	プリント、ノート、教科書の持ち込み可の試験を行います。
	レポート試験	0	レポートは行いません。
	平常点評価	10	出席態度
	評価のフィードバック方法	問い合わせに応じます	
	再試験	行わない	

成績評価基準 (ループリック)

概要・スケジュール

回

数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2021/09/22(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	動物行動生理学概要			
	授業内容	ヨーロッパで生まれた動物行動学(エソロジー)について概観し、さらに同時期にアメリカで始まった行動の神経内分泌学的研究について紹介する。			
2.	2021/09/29(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	脳：行動の解剖学的基盤			
	授業内容	脳の構造について発生学的に理解することにより、様々な動物の脳の共通する部分を見つけることができる。魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類（げっ歯類からヒトまで）の脳について概観する。			
3.	2021/10/06(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	ホルモン：行動の生理学的盤			
	授業内容	行動の発現調節に特に重要なホルモンについて、分泌調節から作用機序、機能について学ぶ。			
4.	2021/10/13(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	性決定と性分化			
	授業内容	行動には、生殖行動をはじめとして攻撃行動、母性行動など性に依存するものが多い。そこで性の決定と性分化を学ぶことによって、雄と雌の違いについて考察する。			
5.	2021/10/27(水)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	脳の性分化			
	授業内容	脳の構造学的性差は驚くほど小さいにもかかわらず、行動には大きな性差が歴然としてある。このような性差がどのような仕組みで作られていくかを理解する。			
6.	2021/11/10(水)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	フェロモンと行動			
	授業内容	動物、特に哺乳類の社会行動において化学信号が果たす役割は極めて大きい。嗅覚とフェロモンの違いを理解し、それぞれの行動調節における役割を理解する。			
7.	2021/11/17(水)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	雄性行動			
	授業内容	性的に成熟した雄は、同種の発情雌に対して接近を試み、生殖行動を行う。これらの行動の生理学的基盤について考える。			
8.	2021/11/24(水)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	雌性行動			
	授業内容	動物の雌は、周期的に内分泌状態を変化させ、発情と非発情を繰り返す。非発情の状態では雄のアプローチを拒否するのに対して、発情状態では雄を受け入れ、交尾が成立する。これらの行動の神経内分泌機序について考える。			
9.	2021/12/01(水)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	きずな形成			
	授業内容	プレイリーハタネズミは、哺乳類では珍しく一夫一婦制の社会構造を形成する。特定の異性個体と社会的関係を築くためにはどのような生理学的基盤が必要であるかを学ぶ。			
10.	2021/12/08(水)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	母性行動			
	授業内容	妊娠した雌が出産まじかになると巣作りをし、そして出産直後から子育て行動を開始する。これらのことから子育て行動の神経内分泌要件を考察する。			
11.	2021/12/15(水)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	テリトリーと攻撃行動			
	授業内容	多くの種の雄は繁殖戦略としてテリトリーを形成し、他の雄のテリトリーへの侵入を防ぐため、攻撃行動を示す。一方、雌は授乳期間以外に攻撃行動を示すことはない。これら攻撃行動の生理学的基盤を考察する。			
12.	2021/12/22(水)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	行動の周期性			
	授業内容	動物の行動は様々な周期性を持つ。一番代表的なものは、昼夜の1日周期であり、これは明暗の手掛かりがなくても周期性が現れ概日周期と呼ばれ、時計遺伝子によって制御されている。そのほか、排卵周期や季節繁殖についても考察する。			
13.	2021/12/28(火)	1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
	タイトル	情動行動			
	授業内容	動物に情動があるかを証明することは極めて困難であるものの、状況として情動を引			

	授業内容	き起こしうる場面では特異な行動パターンが現れることから、これを情動行動として研究されている。情動行動とホルモンの関係を考察する。		
	2022/01/12(水) 1 時限	近藤 保彦	遠隔授業	講義
14.	タイトル	社会的地位と繁殖行動		
	授業内容	動物が集団で生活する時、そこに社会的地位が現れる。この社会的地位は様々な行動に影響し、また繁殖能力にまで影響は及ぶ。社会的刺激によって性転換する魚類や爬虫類、そして真社会性をもつハダカデバネズミの例を挙げ考察する。		

その他	<p>動物たちは、私たち人間と同様、他個体との社会的相互作用を通して様々な活動を行いながら生活しています。雄どうしは自分のテリトリーを守るために闘争行動を示し、雄と雌とでは自分の種を維持し、子孫を残すために様々な求愛行動をし、性行動（交尾）をします。これらの行動の発現にはフェロモンという特殊な化学信号が重要な役割を果たします。この授業の目的は、これらの行動の生理学的メカニズムを知ることにあります。</p> <p>講義ではこれらの行動をどのように実験動物である小型げっ歯類を使って実験室で実現するか、その行動測定方法と実験技法を説明します。それらを通して行動のホルモンによる調節や神経調節について学びます。</p> <p>※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。</p>
-----	--

科目No	212235000
ナンバリングコード	N2DA3401
科目名	動物看護学各論II
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	森 昭博 関 瀬利 宮田 拓馬

授業のねらい	内分泌疾患、口腔内疾患、循環器疾患、栄養代謝性疾患、整形外科疾患、生殖器疾患、救急疾患の病態を理解し、診断、治療、看護管理について学習する。
到達目標	ホルモン分泌機構、および関連疾患時の症状、検査方法、治療法を説明できる。糖・カルシウム代謝を理解し説明できる。循環器疾患、口腔内疾患、整形外科疾患、生殖器疾患、救急疾患の病態、検査法、治療法、看護方法を説明できる
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	特に1年次に学んだ動物形態学等の基礎科目の講義内容を復習しておくこと
履修上の留意点	参考書等を活用しながら、十分な予習・復習によって理解を深めること
授業期間を通して出される課題	理解度確認ならびに出席確認のため、小テストもしくはレポートを各回で実施する
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	授業内容の事前配布による予習（100分） 授業内容の理解の為に配布したプリント等も活用し、関連資料をまとめる（100分）
テキスト、参考文献他	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ第9巻 動物臨床看護学総論、各論（EDUWARD Press） コアカリ2019準拠 臨床動物看護学 3 動物臨床看護学概論、動物臨床看護学各論（インター・ズー） 必要に応じて授業ごとに配布する資料
授業形態	対面授業を基本とし、第7-9回目でのみ遠隔授業を実施する。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	80	学期末に対面で定期試験を実施する。感染状況によっては、各回で課す小テストやレポートで代替する場合がある。
	レポート試験	0	
	平常点評価	20	各回の課題の成績、提出状況で評価する。
	評価のフィードバック方法		評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。
成績評価基準	再試験		原則実施しないが、試験後に検討する。

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/09/26(月)	2時限	森 昭博	B511	講義
	タイトル	内分泌疾患とは、犬の甲状腺機能低下症			
	授業内容	内分泌疾患の基礎、診断のための検査方法、サンプルの取り扱いについて学ぶ、犬の甲状腺機能低下症の症状・診断・治療・看護について			
2.	2022/10/03(月)	2時限	森 昭博	B511	講義
	タイトル	猫の甲状腺機能亢進症・犬の尿崩症について			
	授業内容	猫の甲状腺機能亢進症および犬の尿崩症における、症状・診断・治療・看護について			
3.	2022/10/17(月)	2時限	森 昭博	B511	講義
	タイトル	副腎の機能について、犬の副腎皮質機能低下症（アジソン病）について			
	授業内容	犬の副腎皮質機能低下症における、症状・診断・治療・看護について			
4.	2022/10/24(月)	2時限	森 昭博	B511	講義
	タイトル	犬の副腎皮質機能亢進症			
	授業内容	犬の副腎皮質機能亢進症における、症状・診断・治療・看護について			
5.	2022/10/31(月)	2時限	森 昭博	B511	講義
	タイトル	犬の糖尿病について			
	授業内容	犬の糖尿病における、症状・診断・治療・看護について			
6.	2022/11/08(火)	2時限	森 昭博	B511	講義
	タイトル	猫の糖尿病について、犬と猫の糖尿病性ケトアシドーシスについて			
	授業内容	猫の糖尿病、犬と猫の糖尿病性ケトアシドーシスにおける、症状・診断・治療・看護について			
7.	2022/11/14(月)	2時限	担当教員	遠隔授業	
	タイトル	口腔内疾患1			
	授業内容	歯石症、不正咬合、歯肉炎、口蓋裂、口内炎の各病態について理解する。（担当者：戸田巧）			
8.	2022/11/21(月)	2時限	担当教員	遠隔授業	
	タイトル	口腔内疾患2			
	授業内容	歯石症、不正咬合、歯肉炎、口蓋裂、口内炎の各治療と看護について理解する。（担当者：戸田巧）			
9.	2022/11/28(月)	2時限	担当教員	遠隔授業	
	タイトル	口腔内疾患3			
	授業内容	デンタルケアに関して理解する。（担当者：戸田巧）			
10.	2022/12/05(月)	2時限	関 瀬利	B511	講義
	タイトル	循環器疾患1			
	授業内容	僧帽弁逆流症、心筋症、血栓塞栓症、腹膜横隔膜ヘルニア、心房中隔欠損について理解する。			
11.	2022/12/12(月)	2時限	関 瀬利	B511	講義
	タイトル	循環器疾患2			
	授業内容	心室中隔欠損、卵円孔開存、右大動脈弓遺残症、動脈管開存症、犬糸状虫症について理解する。			
12.	2022/12/19(月)	2時限	宮田 拓馬	B511	講義
	タイトル	整形外科疾患1			
	授業内容	骨折、脱臼、膝蓋骨脱臼、関節炎、変形性関節症、前十字靭帯断裂、股異形成、レッグペルテス病、骨肉腫について検査や治療の手順を中心に理解する。			
13.	2022/12/26(月)	2時限	宮田 拓馬	B511	講義
	タイトル	整形外科疾患2			
	授業内容	骨折、脱臼、膝蓋骨脱臼、関節炎、変形性関節症、前十字靭帯断裂、股異形成、レッグペルテス病、骨肉腫について治療を受けている動物の看護援助について理解する。			
14.	2023/01/16(月)	2時限	宮田 拓馬	B511	講義
	タイトル	生殖器疾患、救急疾患			
	授業内容	潜在精巣、前立腺炎、前立腺肥大、子宮蓄膿症、偽妊娠、難産、膣脱、乳腺炎、犬ブルセラ病、乳腺腫瘍、腫瘍随伴症候群について、検査や治療の手順、治療を受けてい			

授業内容 る動物の看護援助について理解する。化学療法の副作用について理解する。また交通事故、感電、熱傷、熱中症、中毒、誤飲、ショック、アナフィラキシーについて理解する。

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212236000
ナンバリングコード	
科目名	動物看護学各論III
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	長谷川 大輔 中村 遊香 百田 豊 余戸 拓也

授業のねらい	犬と猫の疾患のうち、神経障害および皮膚障害、眼障害について病態、診断、治療の概要を俯瞰する。 3つの障害に関して、動物看護への実践・応用のために必要な基礎知識の習得を目的とする。		
到達目標	1. 神経疾患の臨床的側面から理解する。 2. 皮膚疾患の臨床的側面から理解する。 3. 眼疾患について臨床的側面から理解する。		
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物形態学、動物免疫学、動物病態学、動物医療検査学、動物形態学実習の復習を行うこと。		
履修上の留意点			
授業期間を通して出される課題			
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	復習として、毎回の実習内容についてまとめておく（100分）。 図書館等を利用して、授業内容の関連事項について自習する（100分）。		
テキスト、参考文献他	臨床動物看護学 3 動物臨床看護学概論、動物臨床看護学各論（interzoo）		
授業形態	講義室での講義。		
成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法
	定期試験	60	学期末に定期試験を実施する。
	レポート試験	10	百田が担当する皮膚科において課す。
	平常点評価	30	出席態度を加味する。
	評価のフィードバック方法	学習支援システムおよびマーク試験の結果は個別に確認できる。さらに学習を希望する場合は個別に対応する。	
再試験	基本的に実施する。レポートで対応する場合もある。		
成績評価基準（ループ）			

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/14(木)	2時限	長谷川 大輔	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科1 (中村)	皮膚科の基礎 (皮疹、診断技術など)		
2.	2022/04/21(木)	2時限	長谷川 大輔	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科2 (中村)	検査		
3.	2022/04/28(木)	2時限	百田 豊	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科3 (中村)	治療法 (全身療法と局所療法、免疫療法)		
4.	2022/05/12(木)	2時限	中村 遊香	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科4 (百田)	痒い病気：外部寄生虫、細菌、真菌		
5.	2022/05/19(木)	2時限	中村 遊香	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科5 (百田)	痒い病気：アレルギー疾患		
6.	2022/05/26(木)	2時限	百田 豊	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科6 (百田)	その他の疾患：内分泌疾患、免疫介在性疾患		
7.	2022/06/02(木)	2時限	百田 豊	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	神経科1 (長谷川)			
8.	2022/06/09(木)	2時限	百田 豊	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	神経科2 (長谷川)			
9.	2022/06/16(木)	2時限	百田 豊	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	眼科1 (余戸)			
10.	2022/06/23(木)	2時限	百田 豊	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	眼科2 (余戸)			
11.	2022/06/30(木)	2時限	百田 豊	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	眼科3 (余戸)			
12.	2022/07/07(木)	2時限	百田 豊	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科7 (百田)	免疫介在性疾患 (続き)、皮膚腫瘍		
13.	2022/07/14(木)	2時限	余戸 拓也	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科8 (百田)	耳科の基礎		
14.	2022/07/21(木)	2時限	余戸 拓也	B511	講義
	タイトル				
	授業内容	皮膚科9 (百田)	耳科の疾患、治療		

その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212240000
ナンバリングコード	
科目名	動物外科看護学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	関 瀬利 藤田 道郎 宮田 拓馬 小野沢 栄里

授業のねらい	本講義では、様々な疾患に対する動物看護を実施するために必要な臨床的知識を幅広く学ぶことを目的とする。																		
到達目標	1. 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。 2. 犬と猫の腫瘍性疾患および呼吸器疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。腫瘍性疾患と呼吸器疾患の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。																		
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	「動物看護学各論I」および「動物看護学各論II」と併せ、幅広い疾患に対する知識を深める必要がある。																		
履修上の留意点	適切な参考書を利用し、十分な予習・復習によって理解を深めること。																		
授業期間を通して出される課題	適宜、内容に関する小テストを実施する。																		
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習として参考文献などで次回の講義内容に関する資料を読む（100分） 授業内容の理解を深めるために配布したプリントを復習し、関連資料をまとめる（100分）など																		
テキスト、参考文献他	テキスト：授業ごとにプリントを配布する。 遠隔授業用資料：音声付き動画資料を配信する。 愛玩動物看護師カリキュラム準拠 8巻 9巻																		
授業形態	通常はスライドを用いた遠隔授業。音声付き動画資料を使用する。																		
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>60</td> <td>対面あるいはオンラインによる定期試験を実施する。</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平常点評価</td> <td>40</td> <td>小テストによる評価を実施する。</td> </tr> <tr> <td>評価のフィードバック方法</td> <td></td> <td>評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。</td> </tr> <tr> <td>再試験</td> <td></td> <td>実施しない。</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	60	対面あるいはオンラインによる定期試験を実施する。	レポート試験	0		平常点評価	40	小テストによる評価を実施する。	評価のフィードバック方法		評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。	再試験		実施しない。
種別	評価割合(%)	評価方法																	
定期試験	60	対面あるいはオンラインによる定期試験を実施する。																	
レポート試験	0																		
平常点評価	40	小テストによる評価を実施する。																	
評価のフィードバック方法		評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。																	
再試験		実施しない。																	
成績評価基																			

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/12(火)	1 時限	藤田 道郎		遠隔授業
	タイトル	動物の呼吸器疾患 1			
	授業内容	鼻から鼻咽頭にかけて疾患時に見られる呼吸状態について解説する。			
2.	2022/04/19(火)	1 時限	藤田 道郎		遠隔授業
	タイトル	動物の呼吸器疾患 2			
	授業内容	咽喉頭にかけて疾患時に見られる呼吸状態について解説する。			
3.	2022/04/26(火)	1 時限	藤田 道郎		遠隔授業
	タイトル	動物の呼吸器疾患 3			
	授業内容	気道～肺および胸腔・縦隔にかけて疾患時に見られる呼吸状態について解説する。			
4.	2022/05/10(火)	1 時限	小野沢 栄里		遠隔授業
	タイトル	動物の腫瘍性疾患			
	授業内容	腫瘍性疾患の性質や分類法などの概論を学ぶ。			
5.	2022/05/17(火)	1 時限	小野沢 栄里		遠隔授業
	タイトル	動物の腫瘍性疾患			
	授業内容	動物の腫瘍性疾患において用いられる検査について学ぶ。			
6.	2022/05/24(火)	1 時限	小野沢 栄里		遠隔授業
	タイトル	動物の腫瘍性疾患			
	授業内容	動物の腫瘍性疾患の治療援助について学ぶ。			
7.	2022/05/31(火)	1 時限	小野沢 栄里		遠隔授業
	タイトル	動物の腫瘍性疾患			
	授業内容	末期がん動物の看護援助について学ぶ。			
8.	2022/06/07(火)	1 時限	宮田 拓馬		遠隔授業
	タイトル	外科看護学			
	授業内容	動物外科看護学の概要、手術室管理、動物の術前管理、術中管理、術後管理について学ぶ。			
9.	2022/06/14(火)	1 時限	宮田 拓馬		遠隔授業
	タイトル	外科看護学			
	授業内容	滅菌消毒法、術前準備、術衣、グローブの装着について学ぶ。			
10.	2022/06/21(火)	1 時限	宮田 拓馬		遠隔授業
	タイトル	外科看護学			
	授業内容	ドレーピング、手術器具の使用法、縫合法について学ぶ。			
11.	2022/06/28(火)	1 時限	宮田 拓馬		遠隔授業
	タイトル	外科看護学			
	授業内容	創傷治療、包帯法、機能回復、理学療法について学ぶ。			
12.	2022/07/05(火)	1 時限	関 瀬利		遠隔授業
	タイトル	動物の輸液学			
	授業内容	輸液の適応とリスク、計画、各種輸液材の特性や適応、輸液中のモニタリングについて学ぶ。			
13.	2022/07/12(火)	1 時限	関 瀬利		遠隔授業
	タイトル	動物の麻酔管理学			
	授業内容	動物の術前管理、動物の術中管理、動物の麻酔法、痛みの評価と管理、麻酔モニタリングについて学ぶ。			
14.	2022/07/19(火)	1 時限	関 瀬利		遠隔授業
	タイトル	動物の救急救命学			
	授業内容	動物の救急疾患、救急救命法について学ぶ			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212243000
ナンバリングコード	
科目名	動物臨床看護学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	小田 民美 小野沢 栄里

授業のねらい	チーム獣医療において、専門性を発揮した動物看護ケア提供のために、動物病院における動物看護師の業務内容を、経営と動物看護管理、マネジメントの視点で学ぶ 身体機能障害を持つ動物の看護に関する基礎知識と具体的な援助方法を学ぶ 動物看護の視点での情報収集・アセスメント能力および動物看護過程を展開する能力を身に着ける
到達目標	①動物看護過程の基礎について、動物看護の視点で理解する ②動物看護管理、病院経営・マネジメントを理解する ③チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解する ④グループでのケーススタディを通して、動物看護過程の展開方法を具体的に考える
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	本講義では、動物内科看護学、動物外科看護学、動物臨床検査学、動物栄養学、動物臨床看護学各論I～III、動物医療コミュニケーションで学んだ知識が必要となるので、よく復習しておくこと。
履修上の留意点	講義およびグループワークに主体的に参加し、班員と連携・協働すること。
授業期間を通して出される課題	それぞれの単元で、復習テストおよびレポート課題、グループ課題があるため、学習支援システムから回答、提出すること。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	講義内容の理解を深めるために、次回の講義で使用する講義資料や動画資料を事前に学習してくる (90分) グループワークでは事前にケーススタディの資料を閲覧し、関連する病気について予習する (30分) 復習として、それぞれの単元で出される復習テストやレポート課題に取り組む (90分)
テキスト、参考文献他	テキスト：愛玩動物看護師カリキュラム準拠 第9巻 動物臨床看護学総論/動物臨床看護学各論 (EDUWARD Press)、as BOOKS 今からはじめる動物看護過程－事例でやさしく解説 (EDUWARD Press) 参考文献 認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 臨床動物看護学1 (動物内科看護学/動物外科看護学/動物医療コミュニケーション) 認定動物看護師教育コアカリキュラム2019準拠 臨床動物看護学2 (動物臨床栄養学/動物臨床検査学) asBOOKS 事例でやさしく解説 今からはじめる動物看護過程 asBOOKS 手順、注意点、根拠がよくわかる 動物看護技術とレーニングブック
授業形態	講義：講義室内での講義、3～4名の少人数でのグループワーク (ケーススタディ) あり 学修支援システムから講義資料ダウンロード、動画資料の閲覧、課題提出、復習テスト回

答

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	60	学期末に定期試験を実施する
	レポート試験	20	復習テスト、課題レポートの提出状況、内容を評価する
	平常点評価	20	出席状況、グループワークに取り組む姿勢等を総合的に評価する
	評価のフィードバック方法	学修支援システムを通して個別に通知する	
	再試験	実施しない	

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/12(火)	2時限	小田 民美	E111	講義
	タイトル	愛玩動物看護師の職域と業務内容			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・獣医療の高度化とともに発展したチーム獣医療の考え方について理解する ・動物看護師の職域について考える ・愛玩動物看護の役割と機能、組織における動物看護提供システムについて理解する 			
2.	2022/04/19(火)	2時限	小田 民美	E111	講義
	タイトル	動物看護過程1：情報収集とアセスメント1			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護過程の各ステップについて理解する ・動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護計画・実践を考える ・動物看護上の問題の明確化を目的に、情報を収集・整理・解釈・判断する 			
3.	2022/04/26(火)	2時限	小田 民美	E111	講義
	タイトル	動物看護過程2：情報収集とアセスメント2			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護上の問題の明確化を目的に、情報を収集・整理・解釈・判断する ・情報を整理する（動物像、病像、生活像） ・3本のラインにおける看護動物の現状を捉える ・看護動物の生活環境、飼い主が与える影響について考える 			
4.	2022/05/10(火)	2時限	小田 民美	E111	講義
	タイトル	動物看護過程3：動物看護診断1			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護上の問題の明確化を目的に、情報を収集・整理・解釈・判断する ・関連図を作成する ・整理した情報をもとに、動物看護上の問題点を抽出する 			
5.	2022/05/17(火)	2時限	小田 民美	E111	講義
	タイトル	動物看護過程4：動物看護診断2			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・問題点の優先度を判断できる ・病期の特徴について理解する（急性期、回復期、慢性期、寛解期、終末期） ・経過別の動物看護ケアを考える ・終末期の動物看護の特徴（動物のQOLを考えたターミナルケア、グリーフケア、介護、エンゼルケア）について学ぶ 			
6.	2022/05/24(火)	2時限	小田 民美	E111	講義
	タイトル	動物看護過程5：動物看護計画・実践			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な計画を立て実践につなげる ・動物看護計画が立案できる ・ケアの標準化（クリティカルパス）と個別性を重視した動物看護について考える ・目標を達成するための具体策が提案できる ・看護動物の日々の状態を適切に評価し、動物看護を実践できる ・継続動物看護、飼い主の療養支援、飼い主教育について考える 			
	2022/05/31(火)	2時限	小野沢 栄里	E111	講義

7.	タイトル	動物看護過程6：診療記録と動物看護記録の目的と書き方			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護実践を考える POMR方式による診療記録の構成について理解する SOAP方式による動物看護経過記録の記載方法について学ぶ 主観的情報（S）と客観的情報（O）を区別する 			
	2022/06/07(火)	2 時限	小野沢 栄里	E111	講義
8.	タイトル	動物看護過程7：動物看護記録の実践			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護実践を考える SとOの情報から、動物看護の視点でアセスメント（A）することができる 動物の日々の状態を適切に評価、記録できる 			
	2022/06/14(火)	2 時限	小野沢 栄里	E111	講義
9.	タイトル	動物看護過程8：動物看護評価と計画修正			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な計画を立て実践につなげ、さらに正しく評価する 実施した動物看護計画の達成度を評価する 結果に影響を与えている原因を明らかにして、動物看護計画を修正・再立案できる 継続的な動物看護の提供について考える 			
	2022/06/21(火)	2 時限	小野沢 栄里	E111	講義
10.	タイトル	周術期の動物看護、動物看護記録			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護実践を考える 周術期の動物看護について理解する 周術期の動物の状態を適切に評価、記録できる 			
	2022/06/28(火)	2 時限	小野沢 栄里	E111	講義
11.	タイトル	外来時の動物看護、動物看護記録			
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> 動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護実践を考える 外来時の動物看護について理解する 外来時の動物の状態を適切に評価、記録できる 			
	2022/07/05(火)	2 時限	小野沢 栄里	E111	講義
12.	タイトル	ケーススタディ1			
	授業内容	事例から学ぶ動物看護過程の一連の流れ、グループワーク			
	2022/07/12(火)	2 時限	小野沢 栄里	E111	講義
13.	タイトル	ケーススタディ2			
	授業内容	事例から学ぶ動物看護過程の一連の流れ、グループワーク			
	2022/07/19(火)	2 時限	小野沢 栄里	E111	講義
14.	タイトル	動物看護過程のまとめと動物臨床看護学実習について			
	授業内容	動物看護過程の総復習、総合演習、後期の実習に向けた心構えについて			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212248000
ナンバリングコード	N2DA3801
科目名	動物臨床検査学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	石岡 克己

授業のねらい 本講義では、検体検査（血液検査、生化学検査、尿検査、細胞診検査など）および生体検査（心電図、各種画像検査など）の原理、目的、方法について学ぶ。

- 到達目標**
1. 各検体検査の原理、目的、方法を理解する。
 2. 各生体検査の原理、目的、方法を理解する。
 3. 検体検査結果に基づき、患者動物の状態を正確にアセスメントできる。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能 「動物形態学」「動物機能学」「動物生化学」「動物病理学」で学んだことを復習しつつ講義に臨むこと。

履修上の留意点 テキストや参考文献を利用し、予習・復習を実施すること。

授業期間を通して出される課題

授業外学習の具体的な指示、時間の目安 ポータル配信資料、参考文献などで次回の講義内容について予習する（100分）
授業内容の理解を深めるため配信した資料で復習を行い、関連資料をまとめる（100分）
など

テキスト、参考文献他 テキスト：ポータルで配信するスライド資料
参考文献：愛玩動物看護師準拠教科書シリーズ第7巻（EDUWARD Press）
犬と猫の臨床検査マスターブック（EDUWARD Press）

授業形態 教室における講義を予定しているが、音声入り動画配信による遠隔講義も適宜併用する。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	100	筆記試験を実施する。
	レポート試験	0	
	平常点評価	0	出席状況を参考にする。
	評価のフィードバック方法		試験評価を基本とする。
	再試験		状況に応じ、実施を検討する。

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回

数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/12(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	臨床検査学総論		B316	
2.	授業内容	臨床検査における動物看護師の役割について学ぶ。 検体採取法、各種採血管、血漿と血清の分離法について学ぶ。	石岡 克己	B315	講義
	2022/04/19(火)	1 時限		B316	
3.	タイトル	完全血球計算 (Complete Blood Count; CBC)	石岡 克己	B315	講義
	授業内容	塗抹標本の作製法と観察法、自動血球計数器の使用法、ヘマ管を使った検査について学ぶ。		B316	
4.	2022/04/26(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	赤血球(RBC)の評価法		B316	
5.	授業内容	赤血球の観察法、貧血の機序と分類、異常赤血球などについて学ぶ。	石岡 克己	B315	講義
	2022/05/10(火)	1 時限		B316	
6.	タイトル	白血球(WBC)の評価法	石岡 克己	B315	講義
	授業内容	白血球の観察法、中毒性変化、異常白血球などについて学ぶ。		B316	
7.	2022/05/17(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	血小板・凝固検査		B316	
8.	授業内容	血小板の観察、凝固時間の測定とDICの評価、術前検査を目的とした止血異常の検査について学ぶ。	石岡 克己	B315	講義
	2022/05/24(火)	1 時限		B316	
9.	タイトル	血液型・輸血検査	石岡 克己	B315	講義
	授業内容	動物の輸血医療の現状と血液型検査、クロスマッチ試験について学ぶ。		B316	
10.	2022/05/31(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	生化学検査概論		B316	
11.	授業内容	生化学検査 (血液化学検査) の基準値、感度と特異度、血漿蛋白、炎症マーカーについて学ぶ。	石岡 克己	B315	講義
	2022/06/07(火)	1 時限		B316	
12.	タイトル	肝胆道系・膵臓の検査	石岡 克己	B315	講義
	授業内容	肝疾患および膵疾患の指標となる項目について学ぶ。		B316	
13.	2022/06/14(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	代謝系・腎臓の検査		B316	
14.	授業内容	血中脂質、代謝系疾患および腎疾患の検査法について学ぶ	石岡 克己	B315	講義
	2022/06/21(火)	1 時限		B316	
15.	タイトル	尿検査	石岡 克己	B315	講義
	授業内容	尿検査の実施法、物理・化学的性状、尿沈渣の形態的評価法について学ぶ		B316	
16.	2022/06/28(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	消化器の検査		B316	
17.	授業内容	糞便検査、内視鏡検査、その他消化器疾患に関連する検査項目について学ぶ 臨床現場で行われる細胞診、病理組織検査、遺伝子検査について学ぶ	石岡 克己	B315	講義
	2022/07/05(火)	1 時限		B316	
18.	タイトル	X線検査	石岡 克己	B315	講義
	授業内容	X線検査の目的、原理、実施法および放射線防護について学ぶ		B316	
19.	2022/07/12(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	心電図検査		B316	

授業内容 心電図検査の目的、原理、実施法について学ぶ

2022/07/19(火) 1 時限

石岡 克己

B315

B316

講義

14.

タイトル 超音波検査・CT/MRI・その他の検査

授業内容 超音波検査、CT/MRI、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査について学ぶ

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212275000
ナンバリングコード	N2DC0401
科目名	動物心理学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	柿沼 美紀 野瀬 出

授業のねらい 様々な動物種を比較することで、動物の行動メカニズムを探る。また動物園の飼育動物の行動傾向や、飼育環境が行動にもたらす影響について検討する。さらに、イヌ、ネコなど人の生活に密着している動物の行動特性について理解し、人との関係について考える。

到達目標 動物に共通するメカニズムを理解するとともに、その種に特有の行動を適切に説明する。動物の行動観察を実施し、データの収集・分析をする。種の特徴、生後の環境、経験から、ペットの問題行動を議論する。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能

履修上の留意点 授業時間内に多摩動物公園を2回訪問する。交通費は自己負担となる。

授業期間を通して出される課題 行動観察と環境エンリッチメントに関する計2本のレポート課題を課す。また授業内で小レポートを提出する。

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 予習として、授業内で指定された資料の講読及び視聴（100分）。復習として、その日の授業内容を整理してまとめる（100分）。

テキスト、参考文献他 岡野恒也 監修 社会性の比較発達心理学 ブレーン社

授業形態 遠隔形式での講義と、対面形式での実習を組み合わせる。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	50	選択肢式および記述問題
	レポート試験	40	授業内で確認テストや小レポートを課す。
	平常点評価	10	出席態度、質疑応答など積極的な授業参加を評価する。
	評価のフィードバック方法	再試験	問い合わせに対し、個別にフィードバックする。 実施しない

成績評価基準（ループリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/14(木)	2 時限	柿沼 美紀	遠隔授業	講義
	タイトル	動物心理学とは			
	授業内容	前半では動物心理学の研究方法について概説し、特に行動の遺伝研究に焦点をあてる。後半はイヌ、ネコの雌雄および品種による行動の違いについて、グループでデータをもとに検証する。			
2.	2022/04/21(木)	2 時限	柿沼 美紀	遠隔授業	講義
	タイトル	攻撃と和解のメカニズム			
	授業内容	適応度を上げるのに必要な攻撃のメカニズムについて概説する。攻撃行動および回避行動の種類について学び、後半ではイヌの写真からカーミングシグナルを読み解く。			
3.	2022/04/28(木)	1 時限	柿沼 美紀 野瀬 出	学外	実習
	タイトル	行動観察の基礎 その1			
	授業内容	多摩動物公園での観察			
4.	2022/04/28(木)	2 時限	柿沼 美紀 野瀬 出	学外	実習
	タイトル	行動観察の基礎 その2			
	授業内容	多摩動物公園での観察			
5.	2022/05/19(木)	1 時限	柿沼 美紀 野瀬 出	遠隔授業	講義
	タイトル	行動観察の基礎 3			
	授業内容	多摩動物公園での観察記録のまとめ			
6.	2022/05/19(木)	2 時限	柿沼 美紀 野瀬 出	遠隔授業	講義
	タイトル	行動観察の基礎4			
	授業内容	多摩動物公園での観察記録のまとめ			
7.	2022/05/26(木)	2 時限	柿沼 美紀 野瀬 出	遠隔授業	講義
	タイトル	環境エンリッチメントと動物福祉			
	授業内容	環境エンリッチメントの基本的な考え方について概説。動物福祉の視点から動物園動物の環境エンリッチメントについてグループで討議する。			
8.	2022/06/02(木)	1 時限	柿沼 美紀 野瀬 出	学外	講義
	タイトル	環境エンリッチメントと動物の行動1			
	授業内容	多摩動物公園での観察			
9.	2022/06/02(木)	2 時限	柿沼 美紀 野瀬 出	学外	実習
	タイトル	環境エンリッチメントと動物の行動2			
	授業内容	多摩動物公園での観察			
10.	2022/06/09(木)	2 時限	柿沼 美紀 野瀬 出	遠隔授業	実習
	タイトル	脳の進化			
	授業内容	鶏の脳の観察			
11.	2022/06/16(木)	2 時限	野瀬 出	遠隔授業	講義
	タイトル	動物の知性			
	授業内容	動物の言語能力、道具使用、社会的認知、擬人化			
12.	2022/06/23(木)	2 時限	柿沼 美紀	遠隔授業	講義
	タイトル	社会的認知能力			
	授業内容	家畜として他のどの動物よりもヒトとの共存が可能となったイヌの社会的認知能力について概説する。世界の大学で行われている最先端の研究について紹介する。			
13.	2022/06/30(木)	2 時限	柿沼 美紀	遠隔授業	講義
	タイトル	哺乳類の母子関係の仕組み			
	授業内容	哺乳類の母子関係の仕組みについて概説。後半ではチンパンジーの母子関係の野生および飼育下の事例を通してそのメカニズムについて検討する。			
14.	2022/07/14(木)	2 時限	柿沼 美紀	遠隔授業	講義
	タイトル	動物虐待			

授業内容 臨床現場ではしばしば直面する動物虐待を引き起こすメカニズム、鑑別方法、対応方法について概説する。後半では、グループで症例検討を行う。

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212276000
ナンバリングコード	N2DC0501
科目名	動物免疫学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	青木 博史 塩川 舞

授業のねらい 動物免疫学では、動物が生命を維持していくために不可欠な免疫機構を学び、これらの知識を基に、感染予防、疾病予防、健康維持法、または抗病性の高い動物の選択技術などについてその理論を習得することを目的とする。

- 到達目標**
1. 脊椎動物を中心に、自然免疫と獲得免疫、体液性免疫と細胞性免疫について理解する。
 2. 自己と非自己の認識反応について説明できる。
 3. 免疫とかわる疾病、治療、応用技術について理解し、議論できる。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能 動物機能学、動物形態学、動物遺伝学、動物生化学、動物病態学、動物微生物学で学ぶ生物学的及び細胞生物学的な基礎知識を確認しながら履修に臨むこと。

履修上の留意点 愛玩動物看護師法に定める科目の「動物感染症学」に含まれる免疫学の基礎的な部分は「動物微生物学」などで講義する。従って、本講の内容は専門的で難しい内容を含む。免疫学をより深く学びたい、復習のために学びたい、などのた学生向きである。

授業期間を通して出される課題

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 内容を深めるため、次回の講義の内容に合致する教科書内の項目を事前に読んでおくこと。ポータルに掲示してある事前資料等に目を通しておくこと。(100分)
復習として、ポータルに掲示した教材及び参照資料を参考に、毎回のテーマについてまとめておくこと。小テスト及びレポートが課されている場合には、期日内に回答すること(100分)

テキスト、参考文献他 教科書：図解免疫学（オーム社）
参考書：イラストで見る獣医免疫学 第7版（株式会社インターズー）
その他：講義に用いたスライドはポータルに掲示する。印刷配布はしない。

授業形態 遠隔授業又は教室内での講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	80	毎回の講義の後の小テスト及び期末定期試験の評点を総合評価に用いる。
	レポート試験	10	講義回によって出されているレポートの評点を総合評価に用いる。
	平常点評価	10	学習状況（受講・動画聴講状況、ポータル活用、質問等）を総合評価に加味する。
	評価のフィードバック方法		オフィスアワーにおいて問い合わせがあった場合に、個別にフ

再試験

ードバックする。
再試験は実施しない（次年度以降の同定期試験を受験すること）。

成績評価基準
(ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/11(月)	1 時限	青木 博史	B512	講義
	タイトル	免疫学とは			
	授業内容	免疫学の歴史、免疫機能の定義と特徴について学ぶ			
2.	2022/04/18(月)	1 時限	塩川 舞	B512	講義
	タイトル	自然免疫と獲得免疫			
	授業内容	自然免疫と獲得免疫の定義、特徴、相異点について学ぶ			
3.	2022/04/25(月)	1 時限	青木 博史	B512	講義
	タイトル	抗原			
	授業内容	抗原の定義、種類、抗原認識について学ぶ			
4.	2022/05/02(月)	1 時限	青木 博史	B512	講義
	タイトル	抗体			
	授業内容	抗体の基本構造、役割、種類、ならびに補体との反応について学ぶ			
5.	2022/05/09(月)	1 時限	青木 博史	B512	講義
	タイトル	抗原抗体反応と試験法			
	授業内容	抗体の抗原の反応様式、抗原抗体反応を原理とする試験法などについて学ぶ			
6.	2022/05/16(月)	1 時限	青木 博史	B512	講義
	タイトル	免疫に関与する臓器			
	授業内容	免疫反応に関与する臓器、組織、細胞およびその体内循環について学ぶ			
7.	2022/05/23(月)	1 時限	青木 博史	B512	講義
	タイトル	免疫担当細胞 (その1)			
	授業内容	骨髄球系由来の免疫担当細胞の種類と役割について学ぶ			
8.	2022/05/30(月)	1 時限	青木 博史	B512	講義
	タイトル	免疫担当細胞 (その2)			
	授業内容	リンパ系由来の免疫担当細胞の種類と役割について学ぶ			
9.	2022/06/06(月)	1 時限	青木 博史	B512	講義
	タイトル	遺伝的支配			
	授業内容	免疫応答の多様性、遺伝子支配、MHCについて学ぶ			
10.	2022/06/13(月)	1 時限	塩川 舞	B512	講義
	タイトル	細胞性免疫反応			
	授業内容	細胞性免疫反応の定義、役割、関係する細胞などについて学ぶ			
11.	2022/06/20(月)	1 時限	塩川 舞	B512	講義
	タイトル	免疫反応の調節			
	授業内容	体液性と細胞性の免疫反応の連携、免疫反応の調節メカニズムについて学ぶ			
12.	2022/06/27(月)	1 時限	塩川 舞	B512	講義
	タイトル	免疫と疾病 (その1)			
	授業内容	感染防御の免疫反応について学ぶ			
13.	2022/07/04(月)	1 時限	塩川 舞	B512	講義
	タイトル	免疫と疾病 (その2)			
	授業内容	過敏症 (アレルギー) について学ぶ			
14.	2022/07/11(月)	1 時限	塩川 舞	B512	講義
	タイトル	免疫と疾病 (その3)			
	授業内容	免疫不全、自己免疫、がん免疫について学ぶ			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212277000
ナンバリングコード	N2DC0601
科目名	動物防疫学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	青木 博史

授業のねらい 動物衛生、公衆衛生、あるいは獣医療に係る種々の問題とその要因を究明し、対策を講じるため、それらに必要な獣疫学の一般概念と方法論を習得し、動物の保健看護への応用力を身につける。

- 到達目標**
1. 獣疫学が日常生活に深く関与することを理解する
 2. 獣疫学の方法論を学び、問題・課題に対して適切な疫学方法を選択できる
 3. 獣疫学が関与する様々な事例を説明し、問題点を議論できる
 4. 動物保健領域や動物看護領域に獣疫学を応用できる

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能 動物微生物学（2N前期・必須）および公衆衛生学（2N後期・必須）で学ぶ基礎知識を確認しながら、または関連させながら履修に臨むこと。また、数学（1N前期・選択）や確率・統計の知識がある程度要するため、必要に応じて確認すること。

履修上の留意点 愛玩動物看護師法に定める科目の「公衆衛生」に含まれる疫学の基礎的な部分は「公衆衛生」で講義し、本講の内容は専門的で難しい内容を含む。疫学や防疫学をより深く学びたい、復習のために学びたい、などの学生向きである。

授業期間を通して出される課題

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 内容を深めるため、次回の講義の内容に合致する教科書内の項目を事前に読んでおくこと。ポータルに掲示する事前資料等に目を通しておくこと（80分）
復習として、講義で取り扱う教科書、ポータルに掲示する各種資料等を参考に毎回のテーマについてまとめ、小テストおよびレポートがある場合にはそれに回答等すること（120分）

テキスト、参考文献他 教科書：「動物看護の教科書 新訂版」第3巻 応用動物看護学（緑書房）、または愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書「公衆衛生、動物看護関連法規、動物愛護・適正飼養関連法規」（エドワードプレス）「獣疫学<第三版>」（近代出版）、その他：スライドはポータルに掲示する。印刷配布はしない。

授業形態 教室内での講義

成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法
	定期試験	70	毎回の講義の後の小テスト及び期末定期試験の評点を総合評価に用いる。
レポート試験	20	講義回によって出されるレポートまたは演習の評点を総合評価に用いる。	
平常点評価	10	学習状況（受講・動画聴講状況、ポータル活用、質問等）を授業評価に加味する。	
評価のフィードバック方法	オフィスアワーにおいて問い合わせがあった場合に、個別にフ		

再試験

イードバックする。
実施しない成績評価基
準（ルーブ
リック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/09/30(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	動物防疫学（獣医疫学）とは			
	授業内容	獣医疫学の概念、歴史・目的・課題、獣医保健看護領域における疫学の有用性について学ぶ			
2.	2022/10/07(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	疫学の3要素と要因			
	授業内容	疫学の3要素、疾病と曝露、疾病の発生要因、感染症疫学の特徴について学ぶ			
3.	2022/10/14(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	疫学指標			
	授業内容	疫学で用いられる指標の種類とその意味について学ぶ			
4.	2022/10/21(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	因果関係			
	授業内容	因果関係、因果関係の有無の判断、推論について学ぶ			
5.	2022/10/28(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	誤差と因果関係			
	授業内容	誤差の種類、特徴、因果関係との関係、制御方法について学ぶ			
6.	2022/11/11(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	疫学研究方法（その1）			
	授業内容	記述疫学について学ぶ			
7.	2022/11/18(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	疫学研究方法（その2）			
	授業内容	分析疫学（生態学的研究・横断研究・症例対照研究）について学ぶ			
8.	2022/11/25(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	疫学研究方法（その3）			
	授業内容	分析疫学（コホート研究ほか）について学ぶ			
9.	2022/12/02(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	疫学研究方法（その4）			
	授業内容	介入研究（臨床試験・野外試験・地域介入研究）について学ぶ			
10.	2022/12/09(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	統計学的方法			
	授業内容	疫学で活用される統計的方法について、考え方、理論、実例について学ぶ			
11.	2022/12/16(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
	タイトル	標本抽出			
	授業内容	疫学における標本の意味、標本抽出の重要性、標本抽出法の種類と特徴について学ぶ			
	2022/12/23(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義

12.	タイトル	サーベイランスとスクリーニング			
	授業内容	サーベイランスとスクリーニングの特徴と意義、効果、相違点、応用例について学ぶ			
	2023/01/06(金)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
13.	タイトル	特定分野の疫学			
	授業内容	非感染症の疫学、臨床疫学、分子疫学、理論疫学などについて学ぶ			
	2023/01/17(火)	2 時限	青木 博史	B315 B316	講義
14.	タイトル	家畜防疫の事例			
	授業内容	海外悪性伝染病の疫学解析と事例について学ぶ			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212278000
ナンバリングコード	N2DC0701
科目名	動物生態学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	山本 俊昭 鳶本 樹

授業のねらい 地球上に生息する動物には、不思議な色、形をした種がいる。これら生き物の性質はすべて進化の産物である。したがって、生き物を理解する上で「進化」を学ぶことは必要不可欠であるといえる。本講義では、その不思議な性質がなぜ進化したのかを考えていく。

到達目標 高校の生物学ではほとんど触れない生態学であるが、本講義では特に進化生態学および行動生態学の考え方を理解してもらう。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能

履修上の留意点

授業期間を通して出される課題

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 復習として、毎回のテーマをまとめておく

テキスト、参考文献他 ①進化とはなんだろうか 長谷川真理子 著②生態学入門 日本生態学会編

授業形態 教室内での講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	70	学期末に定期試験を実施する
	レポート試験	0	レポート試験は行わない
	平常点評価	30	出席態度、小テストによって評価する
	評価のフィードバック方法		ポータルにて個別に知らせる。
	再試験		実施する

成績評価基準 (ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
----	-----	----	-----	----	------

1.	2022/09/27(火) 1時限 タイトル 至近要因と究極要因 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
2.	2022/10/04(火) 1時限 タイトル 進化のメカニズム：自然淘汰・遺伝的浮動 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
3.	2022/10/11(火) 1時限 タイトル 個体変異の源泉：突然変異 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
4.	2022/10/18(火) 1時限 タイトル 種分化：同所的種分化・異所的種分化 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
5.	2022/10/25(火) 1時限 タイトル 利他行動の進化：包括適応度・血縁淘汰 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
6.	2022/11/01(火) 1時限 タイトル 性選択 1：同性内淘汰・異性間淘汰 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
7.	2022/11/15(火) 1時限 タイトル 性選択 2：ランナウェイ理論・ハンディーギャップ理論 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
8.	2022/11/22(火) 1時限 タイトル 最適化戦略 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
9.	2022/11/29(火) 1時限 タイトル ゲーム理論：進化的に安定な戦略 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
10.	2022/12/06(火) 1時限 タイトル 性比の進化 1：フィッシャーの性比理論 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
11.	2022/12/13(火) 1時限 タイトル 性比の進化 2：局所的配偶競争・局所的資源競争 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
12.	2022/12/20(火) 1時限 タイトル 有性生殖と無性生殖 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
13.	2022/12/27(火) 1時限 タイトル 擬態の進化 授業内容	山本 俊昭	B512	講義
14.	2023/01/10(火) 1時限 タイトル 性転換する生物 授業内容	山本 俊昭	B512	講義

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212281000
ナンバリングコード	
科目名	比較動物学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	山本 俊昭 田島 木綿子 中田 友明 鳶本 樹

授業のねらい 哺乳類のみならず脊椎動物である魚類、両生類、爬虫類、さらには鳥類を対象とし、各動物群の特性を学び、系統間の類似点および相違点を里香宇することが目的である。

- 到達目標**
- 1) 各分類群の特性を理解する
 - 2) 分類群間の類似点、相違点が挙げることができる
 - 3) 脊椎動物の進化を学ぶ

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能

履修上の留意点

授業期間を通して出される課題

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 復習として、毎回のテーマをまとめておくこと。

テキスト、参考文献他

授業形態 教室内での講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	70	学期末に定期試験を実施する。
	レポート試験	0	レポート試験は行わない。
	平常点評価	30	出席態度、小テストによって評価する。
	評価のフィードバック方法	定期試験	
	再試験		成績不振者に対し再試験を行う場合がある。

成績評価基準 (ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/15(金)	2時限	山本 俊昭	B411 B412	講義
		タイトル	魚類の動物学 (山本)		
		授業内容	魚類の動物学		
2.	2022/04/22(金)	2時限	山本 俊昭	B411 B412	講義
		タイトル	魚類の動物学 (山本)		
		授業内容	魚類の動物学		
3.	2022/05/06(金)	2時限	山本 俊昭	B411 B412	講義
		タイトル	魚類の動物学 (山本)		
		授業内容	魚類の動物学		
4.	2022/05/13(金)	2時限	中田 友明	B411 B412	講義
		タイトル	爬虫類・両生類の動物学 (中田)		
		授業内容	爬虫類・両生類の動物学		
5.	2022/05/20(金)	2時限	中田 友明	B411 B412	講義
		タイトル	爬虫類・両生類の動物学 (中田)		
		授業内容	爬虫類・両生類の動物学		
6.	2022/05/27(金)	2時限	中田 友明	B411 B412	講義
		タイトル	爬虫類・両生類の動物学 (中田)		
		授業内容	爬虫類・両生類の動物学		
7.	2022/06/03(金)	2時限	担当教員	B411 B412	講義
		タイトル	鳥類の動物学 (富田)		
		授業内容	鳥類の動物学		
8.	2022/06/10(金)	2時限	担当教員	B411 B412	講義
		タイトル	鳥類の動物学 (富田)		
		授業内容	鳥類の動物学		
9.	2022/06/17(金)	2時限	田島 木綿子	B411 B412	講義
		タイトル	海棲哺乳類の動物学 (田島)		
		授業内容	海棲哺乳類の動物学		
10.	2022/06/24(金)	2時限	田島 木綿子	B411 B412	講義
		タイトル	海棲哺乳類の動物学 (田島)		
		授業内容	海棲哺乳類の動物学		
11.	2022/07/01(金)	2時限	田島 木綿子	B411 B412	講義
		タイトル	海棲哺乳類の動物学 (田島)		
		授業内容	海棲哺乳類の動物学		
12.	2022/07/08(金)	2時限	田島 木綿子	B411 B412	講義
		タイトル	海棲哺乳類の動物学 (田島)		
		授業内容	海棲哺乳類の動物学		
13.	2022/07/15(金)	2時限	田島 木綿子	B411 B412	講義
		タイトル	海棲哺乳類の動物学 (田島)		
		授業内容	海棲哺乳類の動物学		
14.	2022/07/22(金)	2時限	田島 木綿子	B411 B412	講義

タイトル 海棲哺乳類の動物学 (田島)
授業内容 海棲哺乳類の動物学

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212304000
ナンバリングコード	
科目名	動物機能学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	袴田 陽二 藤澤 正彦

授業のねらい	本講座は臨床動物看護学への橋渡しとなる科目であり、動物体内で繰り広げられる様々なメカニズムについて理解する必要がある。また、動物の病気の原因を理解する上でも動物の「ホメオスタシス」を常に念頭に置くことが求められる。
到達目標	1 動物の体を構成する細胞の基本構造とその仕組みについて理解する。 2 動物の体を構成する各臓器（血液、循環器、呼吸器、消化器、内分泌器、泌尿器、神経系）の構造と機能について理解する。
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	基礎生物学、基礎化学等の関連科目を理解してから履修に臨むこと。
履修上の留意点	配信された動画のみに頼らず、解らないところは参考図書等で自学自習してください。当該講義は履修細則で定める「動物実験及び生命科学研究施設利用者講習会」の代替科目である。
授業期間を通して出される課題	
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	内容の理解を深めるため次回の講義で取扱う内容を参考図書等で事前に予習しておくこと（100分） 復習として、毎回のテーマについてまとめておく（100分） など
テキスト、参考文献他	テキスト：講義ごとに講義資料（PDFファイルや動画ファイル）を配布する。 参考書：全国動物保健看護系大学協会編、「動物形態機能学・動物繁殖学」（Eduward press）
授業形態	webを用いた遠隔授業

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	60	定期試験を実施する
	レポート試験	20	授業毎に小テストを行う。
	平常点評価	20	遠隔授業への参加実績や積極的な質問など総合的に評価する。
	評価のフィードバック方法		ポータルサイトにて通達する。
	再試験		必要に応じて実施する。

成績評価基準（ルーブリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/12(火)	4 時限	袴田 陽二	B511	講義
	タイトル	細胞の基本機能 細胞内小器官の役割を学ぶ。細胞－組織-器官－器官系の関係を学ぶ			
	授業内容	1) 細胞の構造について理解する 2) DNAの働きについて理解する 3) 上皮組織、腺組織、支持組織、筋組織、神経組織について理解する 4) 器官の成り立ちと維持、調整システムについて理解する			
2.	2022/04/19(火)	4 時限	袴田 陽二	B511	講義
	タイトル	血液と生体防御 (1)			
	授業内容	赤血球の役割、血液凝固ならびに線溶系の仕組みを理解する。			
3.	2022/04/26(火)	4 時限	袴田 陽二	B511	講義
	タイトル	血液と生体防御 (2)			
	授業内容	白血球の役割を理解する。 1) 自然免疫 2) 獲得免疫 3) アレルギー			
4.	2022/05/10(火)	4 時限	藤澤 正彦	B511	講義
	タイトル	内分泌・代謝			
	授業内容	ホルモンの種類、ホルモンによる生体調節機構			
5.	2022/05/17(火)	4 時限	袴田 陽二	B511	講義
	タイトル	心臓の動きと循環 (1)			
	授業内容	心臓の神経調節、血圧調節を理解する 1) 心臓の機能の調節機能 2) 血管の種類と構造 3) 血圧の調節機構			
6.	2022/05/24(火)	4 時限	袴田 陽二	B511	講義
	タイトル	心臓の動きと循環 (2)			
	授業内容	心臓の神経調節、血圧調節を理解する 1) 心臓の機能の調節機能 2) 血管の種類と構造 3) 血圧の調節機構			
7.	2022/05/31(火)	4 時限	袴田 陽二	B511	講義
	タイトル	呼吸運動			
	授業内容	肺の構造とガス交換、呼吸調節 (神経系、反射など) を理解する 1) 肺の構造 2) 換気の仕組み 3) 肺胞におけるガス交換の仕組み 4) 末梢血管におけるガス交換の仕組み 5) 呼吸運動の調節機構			
8.	2022/06/07(火)	4 時限	袴田 陽二	B511	講義
	タイトル	尿の生成と排泄 (1)			
	授業内容	腎臓の構造と機能を理解する 1) 腎臓の基本構造 2) 尿の生成：糸球体濾過と尿細管における再吸収と分泌			
9.	2022/06/14(火)	4 時限	袴田 陽二	B511	講義
	タイトル	尿の生成と排泄 (2)			
	授業内容	体液調節機構、pH調節機構を理解する 1) 体液の調節機構 2) 酸塩基平衡と調節機構			
10.	2022/06/21(火)	4 時限	藤澤 正彦	B511	講義
	タイトル	神経系 (1)			
	授業内容	神経伝達機序、中枢・末梢神経系、神経伝達物質 1) ニューロンの構成と活動電位、シナプス伝達について理解する 2) 脳の構造と機能について理解する			

		3) 脊髄の構造と機能について理解する 4) 体性神経の構成と機能について理解する 5) 自律神経の構成と機能について理解する			
	2022/06/28(火)	4 時限	藤澤 正彦	B511	講義
11.	タイトル	神経系 (2) 神経系 (2) 運動器の仕組みを理解する			
	授業内容	1) 骨格の構成について理解する 2) 骨の形状と構造について理解する 3) 関節の構造と働きについて理解する 4) 骨格筋の構造と収縮機構について理解する 5) 主な骨格筋の名称と機能について理解する			
	2022/07/05(火)	4 時限	藤澤 正彦	B511	講義
12.	タイトル	神経系 (3) 特殊感覚、高次機能について理解する			
	授業内容	1) 皮膚の付属器官について理解する 2) 体性感覚 (皮膚感覚) について理解する 3) 特殊感覚 (視覚、聴覚、平衡感覚、嗅覚、味覚) について理解する			
	2022/07/12(火)	4 時限	藤澤 正彦	B511	講義
13.	タイトル	消化と吸収 (1) 消化器系総論、消化と吸収			
	授業内容	1) 消化管 (口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の構造と機能について理解する 2) 消化と吸収の仕組みについて理解する 3) 各種栄養素 (糖質、タンパク質、脂質) の代謝について理解する			
	2022/07/19(火)	4 時限	藤澤 正彦	B511	講義
14.	タイトル	消化と吸収 (2)			
	授業内容	消化管運動、肝臓機能			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212306000
ナンバリングコード	
科目名	動物形態学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	山本 昌美 播谷 亮 吉村 久志 岸本 拓也

授業のねらい	動物形態学では動物の体を構成する組織や器官の形態、位置および構成細胞について、さらに構造と機能との関係についても理解することを目的とする。系統的に、家畜と伴侶動物の運動器系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、内分泌器系、神経系および感覚器系について講義する。
到達目標	1.家畜と伴侶動物の体を構成する臓器・器官について、その形態と構成組織を説明できる 2.各種組織を構成する細胞の構造とその機能を説明できる 3.動物看護師に必要な形態学的基礎知識を習得する
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物機能学などで学ぶ臓器の機能についての基礎知識
履修上の留意点	特になし
授業期間を通して出される課題	特になし
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	毎回のテーマについて配付したプリントを読み返す、関連項目について調べる（30分）
テキスト、参考文献他	「基礎動物看護学 1 動物形態機能学」（Interzoo,、購入は必須ではない） 「ビジュアルで学ぶ伴侶動物解剖生理学」（緑書房、購入は必須ではない） 図書館やe-bookなどで関連する参考資料を検索して欲しい。ネット情報は間違いがあることもあるので注意すること。
授業形態	対面講義、一部遠隔講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	80	定期試験期間内に実施
	レポート試験	10	授業内で小テストなどあれば必ず実施し、指示があるものは提出すること
	平常点評価	10	出席状況、授業態度、配信資料のダウンロード状況などを総合的に評価する
	評価のフィードバック方法	学修支援システムによって個別に通知する	

成績評価基準
(ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/12(火)	3時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	動物形態学の基礎			
	授業内容	動物形態学の基礎 (1)細胞の構造と機能(2)組織の構造と機能(3)器官の構成(4)発生学			
2.	2022/04/19(火)	3時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	呼吸器系			
	授業内容	呼吸器系の構造と機能 (1)気道(2)呼吸部(3)胸郭と胸膜(4)鳥類の呼吸器系			
3.	2022/04/26(火)	3時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	消化器系 [1]			
	授業内容	消化器系の構造と機能 [1] (1)口腔(2)歯(3)唾液腺(3)咽頭(4)食道			
4.	2022/05/10(火)	3時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	消化器系 [2]			
	授業内容	消化器系の構造と機能 [2] (1)胃 (単胃、複胃) (2)小腸 (十二指腸、空腸、回腸) (3)大腸 (盲腸、結腸、直腸) (4)肛門			
5.	2022/05/17(火)	3時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	消化器系 [3]			
	授業内容	消化器系の構造と機能 [3] (1)肝臓(2)胆嚢(3)膵臓(4)鳥類の消化器系			
6.	2022/05/24(火)	3時限	播谷 亮	B511	講義
	タイトル	泌尿器系			
	授業内容	泌尿器系の構造と機能 (1)腎臓(2)ネフロン(3)糸球体傍装置(4)集合管(5)膀胱などの尿路系			
7.	2022/05/31(火)	3時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル	生殖器系			
	授業内容	生殖器系の構造と機能 (1)雄性生殖器系(2)雌性生殖器系(3)鳥類の生殖器系			
8.	2022/06/07(火)	3時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル	内分泌器官			
	授業内容	内分泌器官の構造とホルモン (1)視床下部・下垂体系(2)松果体(3)甲状腺(4)上皮小体(5)睪島(6)副腎(7)消化管ホルモン			
9.	2022/06/14(火)	3時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル	体の支持と運動 [1]			
	授業内容	体の支持と運動 (運動器系) [1] (1)各種骨格の構成(2)骨の構造と発生(3)軟骨(4)関節の構造と分類			
10.	2022/06/21(火)	3時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル	体の支持と運動 [2]			
	授業内容	体の支持と運動 (運動器系) [2] (1)筋肉の分類、構造と機能(2)体各部位の筋群(3)鳥類の運動器系			
11.	2022/06/28(火)	3時限	岸本 拓也	B511	講義
	タイトル	循環器系			
	授業内容	循環器系の構造と機能 (1)体循環と小循環(2)血管(3)リンパ管系(4)心臓(5)刺激伝導系			
12.	2022/07/05(火)	3時限	播谷 亮	B511	講義
	タイトル	造血器系、免疫系			
		(1)	(2)	(3)	(4)

13.	授業内容	血液 造血器官 リンパ性器官 免疫に関わる細胞	
	2022/07/12(火) 3時限	岸本 拓也	B511 講義
14.	タイトル	神経系 神経系の構造と機能	
	授業内容	(1)神経組織(2)中枢神経系(大脳、脳幹、小脳、脊髄)(3)末梢神経系(動物性神経、植物性神経、脳神経)	
14.	2022/07/19(火) 3時限	吉村 久志	遠隔授業
	タイトル	外皮系、感覚器系 感覚器系の構造と機能	
14.	授業内容	(1)外皮系(2)眼球と付属器(3)耳と付属器(4)受容器と伝導路	

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212310000
ナンバリングコード	
科目名	野生動物学I
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	山本 俊昭 鳶本 樹

授業のねらい "野生動物学は複数の学問領域にまたがった応用的学問である。生態学だけでなく、形態学、繁殖学、遺伝学、生理学などを総合的に学ぶことによって動物の生態特性を理解する。さらには、具体的な保護・管理を行う上での具体的な方法を挙げながら、日本の野生動物に関する課題について考える機会とする。"

- 到達目標**
1. 日本に生息する野生動物の生態特性を説明できる
 2. 絶滅のメカニズムと対策について説明できる
 3. 野生動物の保護・管理を行うための方法を説明できる。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能 高校・生物の十分な理解を確認してから履修に臨むこと。

履修上の留意点

授業期間を通して出される課題

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 予習（100分）、復習（100分）

テキスト、参考文献他

授業形態 おもにスライドを使用した講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	70	論述試験を実施する
	レポート試験	0	実施しない
	平常点評価	30	出席態度と疑応答等積極的な参加を総合的に評価する。
	評価のフィードバック方法		ポータルを用いて個別に伝える。
	再試験		必要に応じて実施する。

成績評価基準（ルーブリック）

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/04/13(水)	3時限	山本 俊昭	B511	講義
	タイトル	野生動物の分類学			
	授業内容	生物の分類方法について学ぶとともに、動物の種類や系統進化について学ぶ。			
2.	2022/04/20(水)	3時限	山本 俊昭	B511	講義
	タイトル	野生動物の生態・行動：大型動物			
	授業内容	日本に生息する大型野生動物6種を対象に行動、生態および生息環境などについて学ぶ。			
3.	2022/04/27(水)	3時限	寫本 樹	B511	講義
	タイトル	野生動物の生態・行動：中型・小型動物			
	授業内容	日本に生息する中・小型哺乳類（食肉目や齧歯目など）の行動や生態について学ぶ。			
4.	2022/05/11(水)	3時限	寫本 樹	B511	講義
	タイトル	野生動物の繁殖			
	授業内容	野生動物の繁殖戦略や繁殖生理について学び、それらと生息環境や社会構造との関係についても理解を深める。			
5.	2022/05/18(水)	3時限	山本 俊昭	B511	講義
	タイトル	野生動物の個体群生態学			
	授業内容	野生動物の保護管理をおこなう野生動物の個体数推定の方法、生命表を用いた個体群の増減およびその要因について学ぶ。			
6.	2022/05/25(水)	3時限	寫本 樹	B511	講義
	タイトル	野生動物の管理学			
	授業内容	野生動物の鳥獣被害発生状況および対策について学ぶ。また、特定鳥獣保護管理計画に関する制度について学び、順応的管理の考え方について理解する。			
7.	2022/06/01(水)	3時限	山本 俊昭	B511	講義
	タイトル	野生動物の法学			
	授業内容	野生動物にかかわる国際的条約および日本国内の野生動物に関連する法律について学ぶ。また、日本における政策および国家戦略について理解する。			
8.	2022/06/08(水)	3時限	寫本 樹	B511	講義
	タイトル	外来種問題			
	授業内容	近年深刻化するアライグマやクリハラリスといった具体的な外来種問題に触れ、外来生物への知識を深めるとともにその対策の重要性を学ぶ。			
9.	2022/06/15(水)	3時限	寫本 樹	B511	講義
	タイトル	野生動物の救護			
	授業内容	日本の野生動物救護の現状を把握するとともに、生物多様性保全や環境モニタリングといった救護の意義について学ぶ。また、感染症の防疫といった救護のリスクや課題についても同時に学ぶ。			
10.	2022/06/22(水)	3時限	寫本 樹	B511	講義
	タイトル	希少種の保全			
	授業内容	絶滅危惧種の主な絶滅要因について学び、その回復手法である生息域外保全について理解する。また、動物園における希少種の繁殖といった生息域外保全についても同時に学ぶ。			
11.	2022/06/29(水)	3時限	寫本 樹	B511	講義
	タイトル	野生動物の疾病と保全医学			
	授業内容	人間社会と深い関わりがある野生動物由来の人獣共通感染症やその発生原因、対策等について保全医学的な視点から学ぶ。			
12.	2022/07/06(水)	3時限	山本 俊昭 寫本 樹	B511	講義
	タイトル	動物園学①			
	授業内容	野生動物保全に関わる動物園の役割と機能について学ぶ。			
13.	2022/07/13(水)	3時限	山本 俊昭 寫本 樹	B511	講義
	タイトル	動物園学②			
	授業内容	野生動物保全に関わる動物園の役割と機能について学ぶ。			
	2022/07/20(水)	3時限	山本 俊昭 寫本 樹	B511	講義

14. タイトル 動物園学③
授業内容 野生動物保全に関わる動物園の役割と機能について学ぶ。

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212312000
ナンバリングコード	
科目名	動物遺伝学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	近江 俊徳 宇田川 智野

授業のねらい	動物遺伝学は、各種動物を対象に、表現型として認識可能な生物の特性である形質および形質が親から子あるいはそれ以後の子孫（世代）に伝わる「遺伝」について学習する学問領域である。ここでは、遺伝情報の伝達、法則、遺伝的多様性の生成・維持機構、遺伝子解析手法、遺伝病の発現様式など遺伝学の基礎と応用を学習する。																		
到達目標	1. DNAおよび染色体の構造、遺伝情報の伝達のしくみ（メカニズム）について説明できる。 2. 様々な遺伝様式（遺伝の法則）、遺伝的多様性、単一遺伝、多因子遺伝について説明できる。 3. 遺伝子疾患や発生異常、などの遺伝的素因を理解し説明できる。																		
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	1年生前期に動物生化学（必修）を履修しておくこと。																		
履修上の留意点	特になし																		
授業期間を通して出される課題	講義内で適宜演習や小テストを行うことがある																		
授業外学習の具体的な指示、時間の目安	内容の理解を深めるため教科書および次回の講義で取扱う資料を事前に読むこと（100分）復習として、毎回のテーマについてまとめておく（100分）																		
テキスト、参考文献他	配布プリント、スライド、参考書等を使用して講義を行う。基礎動物看護学1(動物形態機能学 動物繁殖学) 日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会 (編集) EDUWARD Press																		
授業形態	配布プリント、スライド、参考書等を使用して講義を行う。																		
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>70</td> <td>点数による評価</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>20</td> <td>各講義で課すレポート課題（確認テスト等）を評価する</td> </tr> <tr> <td>平常点評価</td> <td>10</td> <td>出席状況、講義資料の閲覧状況等を総合的に判断する</td> </tr> <tr> <td>評価のフィードバック方法</td> <td colspan="2">学期末に希望者へ開示</td> </tr> <tr> <td>再試験</td> <td colspan="2">成績不良者に対し、総合評価成績に応じて実施する。</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	70	点数による評価	レポート試験	20	各講義で課すレポート課題（確認テスト等）を評価する	平常点評価	10	出席状況、講義資料の閲覧状況等を総合的に判断する	評価のフィードバック方法	学期末に希望者へ開示		再試験	成績不良者に対し、総合評価成績に応じて実施する。	
種別	評価割合(%)	評価方法																	
定期試験	70	点数による評価																	
レポート試験	20	各講義で課すレポート課題（確認テスト等）を評価する																	
平常点評価	10	出席状況、講義資料の閲覧状況等を総合的に判断する																	
評価のフィードバック方法	学期末に希望者へ開示																		
再試験	成績不良者に対し、総合評価成績に応じて実施する。																		

成績評価基準 (ルーブリック)

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/09/30(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	オリエンテーション・序論			
	授業内容	基礎遺伝学の歴史、遺伝のメカニズム			
2.	2022/10/07(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	遺伝様式の基礎 I			
	授業内容	メンデル遺伝学とその拡張			
3.	2022/10/14(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	遺伝様式の基礎 II			
	授業内容	ゲノムと染色体の構造、減数分裂と配偶子の形成、遺伝子間の連鎖と組換え			
4.	2022/10/21(金)	2 時限	宇田川 智野		遠隔授業
	タイトル	遺伝様式の基礎 III			
	授業内容	DNAの複製、遺伝子の転写と翻訳、DNA損傷と突然変異、遺伝子と染色体の突然変異			
5.	2022/10/28(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	質的形質の遺伝			
	授業内容	愛玩動物や質的形質、産業動物の生産形質の遺伝的特徴、動物の毛色の遺伝			
6.	2022/11/11(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	遺伝的改良の基礎と集団遺伝学			
	授業内容	量的形質と統計学の基礎 (選抜育種、交配様式、交雑育種) 遺伝的パラメータ・選抜と遺伝的改良育種価・遺伝率・反復率 ハーディ・ワインベルグ平衡とその影響因子			
7.	2022/11/18(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	分子遺伝学の基礎と応用			
	授業内容	多型マーカー、家系解析、DNA個体識別			
8.	2022/11/25(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	動物の遺伝的多様性			
	授業内容	遺伝形質の発現、遺伝学を利用した遺伝的改良量の向上、ゲノムの多様性、ミトコンドリアの多様性			
9.	2022/12/02(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	血液型の遺伝学			
	授業内容	動物の血液型と遺伝の関係、免疫遺伝学			
10.	2022/12/09(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	個体識別と遺伝学			
	授業内容	DNA型と血縁登録・親子識別、個体識別			
11.	2022/12/16(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	動物の遺伝性疾患や発生異常			
	授業内容	遺伝病の概要および単一遺伝子病を引き起こす遺伝子変異とその例。数の遺伝子変異と環境要因により発症する多因子遺伝子病の例			
12.	2022/12/23(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	組換えDNA技術と遺伝子工学、遺伝子解析で考慮する規則と倫理			
	授業内容	現代に使用されている組換えDNA技術 遺伝子工学的手法 遺伝子工学を用いた品種改良			
13.	2023/01/06(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	最新犬の遺伝学研究			
	授業内容	犬の基礎遺伝学 最新の海外文献から犬の遺伝学の研究論文を紹介			
14.	2023/01/17(火)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	最新猫の遺伝学研究			
	授業内容	猫の基礎遺伝学			

科目No	212314000
ナンバリングコード	
科目名	動物行動学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	水越 美奈 小野沢 栄里 矢崎 潤

授業のねらい 問題を未然に防ぎ、社会に迷惑をかけずに動物と楽しく暮らすには適切なしつけが必要となる。この講義では動物の種としての行動様式の特徴を学び、家庭で飼育するために必要なしつけと動物の行動の基本的な仕組みを理解することを目的とする。

- 到達目標**
1. 動物の基本的な行動様式について理解する
 2. 犬と猫の飼育に必要な基本的な知識について理解する
 3. 犬と猫のボディランゲージについて理解する
 4. 基本的な学習理論について理解する

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能 特になし

履修上の留意点 特になし

- 授業期間を通して出される課題**
1. 授業をまとめた自筆のノート作成
 2. ポータルによる小テストを毎回行う

授業外学修の具体的な指示、時間の目安

予習：教科書を読み、わからないところを整理する（100分）
復習：講義ノートを作成／整理し、授業内容の把握する。小テストに解答し、提出する（100分）

テキスト、参考文献他 授業ごとに資料を配信する。
テキスト：「愛玩動物看護師教育カリキュラム準拠6 動物行動学・愛玩動物学・比較動物学」日本動物保健看護学系大学協会編 エデュワードプレス

授業形態 資料は事前に配信する。授業に出席し、小テストを提出。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	70	選択式および記述式
	レポート試験	0	
	平常点評価	30	出席、小テスト点数および提出期限遵守を評価する
	評価のフィードバック方法	評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する	
	再試験	必要であれば実施する	

成績評価基準（ループ

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/09/26(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	動物行動学の基礎①			
	授業内容	動物行動研究の4分野、行動の進化と適応、家畜化、脳による行動制御について理解する			
2.	2022/10/03(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	動物行動学の基礎②			
	授業内容	動物の社会構造と維持行動、生殖行動、母性行動など生得的な行動について理解する			
3.	2022/10/17(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	犬と猫の行動発達			
	授業内容	犬と猫の発達ステージ（胎生期・新生子期・移行期・社会化期・若年期・成熟期・高齢期）と各時期の行動学的特徴について理解する			
4.	2022/10/24(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	犬のコミュニケーション行動①			
	授業内容	1. 視覚・聴覚・嗅覚・触覚を使ったコミュニケーション行動を理解する 2. 特に犬が発達しているボディランゲージについての基本を理解する			
5.	2022/10/31(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	犬のコミュニケーション行動②			
	授業内容	不安やストレス下に見せるボディランゲージ、攻撃（攻勢的および恐怖による）時に見せるボディランゲージについて理解する			
6.	2022/11/08(火)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	猫のコミュニケーション行動			
	授業内容	1. 視覚・聴覚・嗅覚・触覚を使ったコミュニケーション行動を理解する 2. ボディランゲージと猫に特徴的な嗅覚によるコミュニケーションを理解する			
7.	2022/11/14(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	犬の飼育と環境			
	授業内容	犬の飼育に必要な環境とそのエンリッチメントについて説明する			
8.	2022/11/21(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	猫の飼育と環境			
	授業内容	猫の飼育に必要な環境とそのエンリッチメントについて説明する			
9.	2022/11/28(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	古典的条件づけ			
	授業内容	古典的条件づけについて理解する			
10.	2022/12/05(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	オペラント条件づけ			
	授業内容	オペラント条件づけについて理解する			
11.	2022/12/12(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義
	タイトル	動機づけなど学習に影響を与える因子とその他の学習方法について			
	授業内容	古典的条件づけとオペラント条件づけ以外の学習の方法と、学習に影響を与える因子について説明する			
	2022/12/19(月)	2 時限	水越 美奈	B315 B316	講義

- | | | | | | |
|-----|---|--------------------|--------|--------------|----|
| 12. | タイトル オペラント条件づけを利用した実際のトレーニング方法①
授業内容 実際のトレーニング方法について学習理論を用いて説明できるようになる | 2022/12/26(月) 2 時限 | 矢崎 潤 | B315
B316 | 講義 |
| 13. | タイトル 社会化トレーニング他、家庭犬に必要なしつけ
授業内容 子犬の社会化、トイレトレーニング、クレートトレーニングなど、具体的なトレーニングと家庭犬のしつけについて理解する | 2023/01/16(月) 2 時限 | 小野沢 栄里 | B315
B316 | 講義 |
| 14. | タイトル 動物看護師が知っておくべき動物病院における行動学
授業内容 動物病院内で役立つ行動学や動物看護師が行う飼い主指導について理解する | | | | |

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212318000
ナンバリングコード	
科目名	動物病理学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	山本 昌美 播谷 亮 吉村 久志 岸本 拓也

授業のねらい	動物病理学では動物形態学、動物機能学で習得した知識をもとに、疾病の成り立ちと体に生じる病的変化について学習する。生体の正常範囲を超えた変動の表現である各種疾病の原因、発症のしくみ、進展の様相、経過、転帰について、諸臓器、組織、細胞に生じる形態的、機能的変化を理解することを目的とする。		
到達目標	1. 病的変化について、その特徴を発生機序と経過、形態的变化について理解できる。 2. 病理学実習までに必要な基礎的知識を習得する。		
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物形態学および動物機能学で学んだ、臓器の機能および組織や細胞の構造についての基礎知識が必要である。		
履修上の留意点	特になし		
授業期間を通して出される課題	講義時に小テストや配布プリントの穴埋め問題をおこなう場合がある		
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	復習として、毎回のテーマについてプリントを読み返す、あるいは自分なりにまとめてみる。(30分)		
テキスト、参考文献他	項目ごとに資料を配布する。 参考書として「基礎動物看護学 2 動物病理学・動物薬理学」(購入は必須ではない)		
授業形態	対面あるいは遠隔講義(授業形態は変更になる場合があります)		
成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法
	定期試験	80	定期試験期間内に実施
	レポート試験	10	授業内で小テストなどあれば必ず実施し、指示があるものは提出すること
	平常点評価	10	出席状況、授業態度、配信資料のダウンロード状況などを総合的に評価する
	評価のフィードバック方法	再試験	学修支援システムによって個別に通知する 定期試験後に判断する
成績評価基準(ループ)			

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2022/09/21(水)	2時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	序論および病態論、病理組織学的検査 疾病は生体の正常範囲の変動を超えた変化で、病態病理学ではこの変化を形態学・機能学的に学ぶ。			
	授業内容	さまざまな病因とそれに対する生体反応と疾病の機序、ホメオスタシスを含めた生体の回復力について知り疾病のなりたちについて理解する。また病理組織学的検査の意義と手順について理解する。			
2.	2022/09/28(水)	2時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	細胞および組織の傷害と死1 組織や細胞はさまざまな物質代謝を営み動的平衡状態を保っているが、この障害が代謝障害である。			
	授業内容	このうちの変性や物質沈着について学ぶ。受動的細胞死の壊死と、能動的細胞死のアポトーシスについて理解する。			
3.	2022/10/05(水)	2時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	細胞および組織の傷害と死2 組織や細胞はさまざまな物質代謝を営み動的平衡状態を保っているが、この障害が代謝障害である。			
	授業内容	このうちの変性や物質沈着について学ぶ。受動的細胞死の壊死と、能動的細胞死のアポトーシスについて理解する。			
4.	2022/10/12(水)	2時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	細胞の適応・増殖・分化異常 萎縮について、また受動的細胞死の壊死と、能動的細胞死のアポトーシスについて理解する。			
	授業内容	生体の病的刺激に対する萎縮などの退行性変化、肥大・過形成など積極的な適応と、損傷といった障害組織とその治癒・修復について理解する。			
5.	2022/10/26(水)	2時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	循環障害 循環器系は血液循環系とリンパ（組織液を含む）循環系よりなり、この障害が循環障害である。			
	授業内容	血液とリンパ（組織液）の循環障害によりおこる病態と、脱水・ショックからおこる病態について学ぶ。			
6.	2022/11/02(水)	2時限	播谷 亮	B511	講義
	タイトル	生体防御機構とアレルギー 免疫は生体防御機構の重要な担い手である。その成り立ちと反応について理解する。			
	授業内容	一方で、免疫は生体にとって不利益な反応をも生じる。その現象として生じるアレルギー反応・免疫異常などについて理解する。			
7.	2022/11/09(水)	2時限	播谷 亮	B511	講義
	タイトル	炎症総論 生体に加わる刺激に対する反応で、局所防御反応である炎症について理解する。			
8.	2022/11/16(水)	2時限	播谷 亮	B511	講義
	タイトル	炎症各論 炎症の形態的特徴による分類と、それぞれの特徴と代表的疾患について理解する。			
9.	2022/11/30(水)	2時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル	腫瘍総論 腫瘍とは生体に由来する細胞が自律的に過剰に増殖した状態である。腫瘍の定義・分類と特徴を理解し、腫瘍の原因と発癌機序、進行と生体への影響について学ぶ。			
10.	2022/12/07(水)	2時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル	腫瘍各論 動物に発生する代表的な腫瘍について学ぶ。			
11.	2022/12/14(水)	2時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	先天異常と奇形 先天異常とは出生時にみられる機能的異常であり、そのうち肉眼的に認識できる形態			

	授業内容	異常を奇形という。 遺伝子・染色体の異常などの原因と、胎子が受ける障害について理解する。			
	2022/12/21(水)	2 時限	岸本 拓也	B511	講義
12.	タイトル	犬猫の代表的な疾患 1			
	授業内容	循環器系、呼吸器系、消化器系の病気			
	2023/01/11(水)	2 時限	岸本 拓也	B511	講義
13.	タイトル	犬猫の代表的な疾患 2			
	授業内容	泌尿器系、生殖器系、神経系の病気			
	2023/01/18(水)	2 時限	岸本 拓也	B511	講義
14.	タイトル	犬猫の代表的な疾患 3			
	授業内容	感覚器系、内分泌系、運動器系、外皮系の病気			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。